

取扱説明書

冷凍冷蔵庫

KFN 4375 DD



お客様の安全を確保し機器の損傷を避けるため、設置前やご使用になる前に **必ず** 本取扱説明書をお読みください。

目次

安全上のご注意	5
環境保護のために	13
設置	14
設置場所	14
気候範囲	15
換気	15
複数の冷蔵機器を設置する	15
ドアヒンジを交換する	15
付属のウォールスペーサーを装着する	16
同梱の防虫パネルの取り付け	16
冷蔵機器を設置する	17
冷蔵機器の位置を合わせる	18
連続するキッチンキャビネットに機器を設置する	18
機器寸法	20
電源接続	22
節電	23
機器ガイド	24
機器ガイド	24
スタート画面付き操作パネル	26
設定モード 	26
設定モード  でご希望の機能を選択する	28
庫内の構成を調整する	29
ドア棚/ボトル棚を移動する	29
エッグトレイをはめる	29
ボトルホルダーを調節する/取り外す	29
調節可能な棚を移動する	29
ベーキングトレイの格納スペース	30
活性炭フィルターを移動する	30
付属アクセサリー	31
別売アクセサリー	31
電源をオン/オフする	32
初めてお使いになる前に	32
冷蔵機器を接続する	32
冷蔵機器をオンする	32
冷蔵機器をオフする	33
冷蔵室だけをオフする	33
長期間オフする	34
適切な温度	35
温度表示	36

冷蔵室/冷凍室の温度を設定する.....	36
温度設定範囲.....	36
SuperCool、SuperFreeze、DynaCoolを使う.....	37
その他の設定を選択する.....	40
さまざまな設定の説明.....	40
パーティーモード 	40
ホリデーモード 	40
ロック機能  /  をオンする.....	41
サバトモード 	42
サバトモード  に関する情報.....	42
ドアアラーム  が作動するまでの時間を変更する.....	43
アラーム音とブザーの音量を調整する  / 	43
ディスプレイの明るさ  を調整する.....	44
デモモードをオフする 	44
設定を初期設定にリセットする 	45
情報 	45
活性炭フィルター交換表示 	45
清掃モード 	45
温度とドアのアラーム.....	46
ドアアラーム.....	46
冷蔵室に食品を保存する.....	47
各種保存ゾーン.....	47
冷蔵室内での保存に適さない食品.....	48
食品ご購入時の注意点.....	48
食品の正しい保存法.....	49
DailyFresh引き出しに食品を保存する.....	50
食品の冷凍と貯蔵をする.....	52
生鮮食品を冷凍する.....	52
最大冷凍容量.....	52
冷凍食品を保存する.....	52
ホームフリージング.....	52
冷凍した食品の保存期間.....	54
飲み物をすばやく冷やす.....	54
アクセサリーを使う.....	54
氷を作る.....	54
霜取り.....	55
清掃とお手入れ.....	56
洗剤.....	56

目次

清掃のために冷蔵機器を準備する.....	57
機器庫内を清掃する.....	58
アクセサリーを手洗いまたは食器洗い機で洗浄する.....	58
アクセサリーを取り外し、分解、清掃する.....	59
ガラス棚と引き出しを冷凍室に挿入します.....	59
防虫パネルの取り外しと清掃.....	60
機器前面とサイドパネルを清掃する.....	62
ドアパッキンを清掃する.....	62
換気間隙を清掃する.....	62
清掃をした後は.....	63
こんなとき、どうしたらいい？.....	64
運転時の音.....	71
アフターサービス.....	72
故障の際の連絡先.....	72

安全上のご注意

表 示	表 示 の 意 味
 警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。
- 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例



禁 止（してはいけないこと）

具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。



強 制（必ずすること）

具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。



注 意（警告を含む）

具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 禁止行為	 潜在的な危険・警告・注意
 分解禁止	 感電注意
 水場、湿気の多い場所での使用禁止	 機器に損害を与える可能性のある場合
 接触禁止	 発火注意
 強制／指示	 高温注意
 電源接続に関する注意	 破裂注意
 必ずアース線を接続	

安全上のご注意

本製品は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切なご使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

安全上のご注意

本冷蔵機器は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切な使用により、人的傷害や財産の物的損害につながるおそれがあります。

冷蔵機器を初めてご使用になる前に、本説明書をよくお読みください。本説明書には、設置、安全、使用、お手入れに関する重要な情報が記載されています。これにより、人体への危害および本冷蔵機器の損傷を防ぐことができます。

冷蔵機器の設置に関するすべての情報、および安全上のご注意と警告をよく読み、指示に従ってください。

ミーレは、これらの指示に従わないことにより生じる被害や損害の製造者責任は負いません。

この取扱説明書は安全な場所に保管し、本製品を譲渡する場合には必ず本書を添付してください。

-  冷蔵機器は、付属の昇圧トランスを使用し、付属の接続コードを使用して冷蔵機器に接続した場合のみ使用できます。昇圧トランスは、必ず適切な電源ケーブルを使用して、アース付きコンセントに接続します。



警告

正しい用途

-  本冷蔵機器は、ご家庭での使用、またはそれに類似する以下のような環境での使用を想定しています：

- 店舗、オフィス、およびそれらに類似する職場環境

- ホテル、モーテル、民宿、およびそれらに類似する居住環境でのゲストによる使用

本冷蔵機器は屋外での使用を想定していません。

-  本機器は、ご家庭における食品や飲み物の冷却と保存、ならびに冷凍された食品の保存、生鮮食品の冷凍、製氷のみを目的としています。

その他の用途での使用は認められておらず、危険をとまなうおそれがあります。

-  本冷蔵機器は、医療機器指令の対象となる冷蔵医薬品、血漿、実験室用製剤、同様の物質や機器の保管および保冷には適しません。このような目的で冷蔵機器を誤って使用すると、貯蔵した物が劣化する可能性があります。冷蔵機器は、爆発の危険性がある場所での使用にも適しません。

ミーレは、機器の不適切または誤った使用によって生じた損害について責任を負いません。

-  身体的、知覚的、または精神的に介護を要する方、経験や知識が未熟な方が本機器を使用する場合は、安全にお使いになれるよう周囲の方が操作中に十分配慮し、操作に伴う危険について説明するようになしてください。



警告

お子様の安全

-  8歳未満のお子様は、常に監督される場合を除き、冷蔵機器に近づかせないでください。
-  8歳以上のお子様は、安全な操作方法について説明を受け、誤った操作による危険性を理解している場合に限り、監督者なしで本機器を使用することができません。
-  お子様が監督されない状態で本機器の清掃やお手入れを一切行わないようにしてください。
-  本機器の近くではお子様から目を離さないようにし、お子様が本機器で遊ばないようにしてください。
-  窒息のおそれがあります。お子様が遊んでいるときに、梱包材（プラスチックラッピングなど）がからまったり、頭にかぶったりすると、窒息するおそれがあります。梱包材をお子様に近づけないでください。



警告

技術的安全性

冷媒回路は漏れないことを検査済みです。本冷蔵機器は、現行の安全基準と適切なEU指令に適合しています。



警告：火災の危険性/可燃性物質。この記号はコンプレッサーに記載されており、可燃性物質を示しています。このステッカーは剥がさないでください。

本冷蔵機器の冷媒（詳細は型式表示シールに記載）は、環境にやさしいですが可燃性です。

ただし、この冷媒を使用することで、機器の騒音レベルがわずかに上昇することがあります。コンプレッサーの動作音に加えて、冷却回路を流れる冷媒の音が聞こえる場合があります。これは防止できませんが、冷蔵機器の性能に影響を与えないものではありません。

冷蔵機器の輸送や設置の際には、冷却回路の部品が破損しないようにご注意ください。冷媒の飛沫で目を負傷したり、冷媒が漏れて発火する可能性があります。

破損した場合：

- 火や火花を発生させるものは避けてください。
- 冷蔵機器を電源から切り離してください。
- 冷蔵機器のある部屋を数分間換気してください。
- ミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。

安全上のご注意

 冷蔵機器内の冷媒の量が多いほど、広い部屋に設置する必要となります。冷媒が漏れた場合、狭い部屋では可燃性のガスと空気の混合物が蓄積する危険があります。冷媒8 gあたり少なくとも 1 m^3 の部屋のスペースが必要です。冷蔵機器内の冷媒量は機器内の型式表示シールに記載しています。

 昇圧トランスの型式表示シールに記載されている接続データ(ヒューズ定格、周波数、電圧)が、電源と一致していることを確認してください。このデータは、冷蔵機器の破損のリスクを回避するために、必ず一致させてください。本機器を電源に接続する前に、この点を確認してください。ご不明な点は、認定技術者にご相談ください。

 本機器の電気系統についての安全が保証されるためには、正しく接地(アース)されていなければなりません。この基本的な安全要件を満たすことは重要です。不明な場合は、資格を有する電気技師に電気配線の検査を依頼してください。

 冷蔵機器は、付属の昇圧トランスを使用し、付属の接続コードを使用して冷蔵機器に接続した場合のみ使用できます。昇圧トランスは、必ず適切な電源ケーブルを使用して、アース付きコンセントに接続します。

 昇圧トランスとともに購入した冷蔵機器のみ、組み合わせて使用することができます。昇圧トランスに他の機器を接続しないでください。

 電源コードは、この冷蔵機器にのみ使用することができます。電源コードは、他の機器とともに使用しないでください。

 付属の電源コードが破損した場合は、ユーザーへの危険回避のため、必ず純正スペアパーツと交換してください。ミーレは、当社の純正スペアパーツを使用した場合のみ、機器の安全性を保証することができます。

 本機器をたこ足配線や延長コードを使って主電源に接続しないでください。発火のおそれがあり、本機器に必要な安全性が保証できなくなります。

 電気部品、電源コード、昇圧トランスの電源コードに水分が入ると、ショートすることがあります。したがって、湿気の多い場所(ガレージやクーティリティールームなど)で冷蔵機器を使用しないでください。

 本機器は、安定していない場所(船上など)で使用しないでください。

 損傷した機器は使用しないでください。
 危険です。本機器に損傷がないかをチェックしてください。

本冷蔵機器は、ビルトイン機器として使用することを目的としていません。

 本機器の設置、メンテナンス、修理の作業中は、必ず電源から遮断している必要があります。

 不適切な設置、メンテナンス、修理により、大きな危険が生じるおそれがあります。
 設置、メンテナンス、および修理はミーレ認定の技術者のみが行うことができます。

保証期間中の修理は、ミーレ認定のサービス技術者のみが行う必要があります。それ以外の人物が行った場合、保証が無効になります。

 保証期間中の修理は、ミーレ認定のサービス技術者のみが行う必要があります。それ以外の人物が行った場合、保証が無効になります。

- ❗ 問題のある部品を交換する場合は、必ずミーレ純正交換部品のみを使用してください。ミーレは、ミーレの交換部品が使用されている場合にのみ、本機器の安全基準を保証できます。

本冷蔵機器には、特定の条件（温度、湿度、耐薬品性、耐摩耗性、震動など）に耐えうる特殊なランプが備えられています。このランプは決められた用途にのみ使用してください。このランプは室内照明には適していません。交換用ランプの取り付けは、必ずミーレ認定の技術者またはサービス担当者によってのみ取り付けることができます。

- ❗ ゴキブリなどの害虫が出現しやすい場所では、本機器とその周辺を常に清潔な状態に保つよう特に注意してください。ゴキブリなどの害虫を原因とする損傷は保証対象外です。



警告

正しい設置

- ❗ 機器に付属の取扱説明書に従って、（必要であれば）ドアヒンジを交換します。
- ❗ 冷蔵機器の運搬や設置の際は、必ず保護手袋を着用してください。
- ❗ 冷蔵機器は必ず2人で設置してください。



注意

正しい使用方法



本冷蔵機器は、一定の気候範囲（周囲温度）での使用を前提に設計されています。設計周囲温度の範囲外では使用しないでください。本機器の気候範囲は、機器内の型式表示シールに記載しています。周囲温度が低すぎると、コンプレッサーが長時間オフになります。つまり、冷蔵機器は必要な温度を維持できません。



通気口は覆ったり妨げたりしないでください。本機器の効率の悪化、電力消費量の増加、部品の損傷につながる可能性があります。



油脂を多く含む食品を庫内やドアに貯蔵する場合は、プラスチック部品に食品が接触しないように注意してください。応力亀裂やプラスチックの破損を引き起こす可能性があります。



火災や爆発のおそれがあります。冷蔵機器に、爆発物または高圧ガスを含む製品（スプレー缶など）を貯蔵しないでください。電気部品が可燃性のガス混合物を発火させる可能性があります。



爆発の危険があります。冷蔵機器内の中で電気機器（電気アイスクリームメーカーなど）を稼働させないでください。火花の発生や爆発の危険があります。



けがや機器の損傷の危険があります。冷凍室で凍結する可能性のある炭酸飲料や液体が入った缶やボトルを貯蔵しないでください。破裂する可能性があります。



けがや機器の損傷の危険があります。冷凍室で飲み物を急速に冷やすときは、ボトルを1時間以上入れたままにしないでください。破裂する可能性があります。

安全上のご注意



けがのおそれがあります。冷凍された食品や機器の金属部分を、絶対に濡れた手で触らないでください。冷凍された食品または金属に、手が凍り付いてしまう可能性があります。



けがのおそれがあります。素手で氷を取り出さないでください。また、氷やスティックアイスは冷凍室から取り出してすぐに口にしないでください。低温により、唇や舌が凍傷となる可能性があります。



溶けかけている食品や解凍した食品は再冷凍しないでください。栄養価が下がったり傷んだりするので、解凍した食品はできるだけ消費してください。解凍した食品は、調理した後に限り再冷凍することができます。



食中毒のリスクを避けるために、食品に記載されている製造元の「消費期限」と保存方法を遵守してください。保存期間は、食品の鮮度、品質、保存温度などの要因に左右されます。

ステンレス製の機器



粘着剤はステンレス製の表面を損傷し、汚れ防止の保護コーティングの効果が失われる原因となります。付箋、粘着テープ、マスキングテープ、その他の粘着剤はステンレス面に貼らないでください。

本製品の表面は傷つきやすい材質でできています。磁石でさえも傷の原因となるおそれがあります。



注意

アクセサリーと交換部品



ミーレ純正アクセサリーのみを使用してください。それ以外のアクセサリーが使用された場合、保証、性能、製品製造者責任に関する請求は無効となります。

ミーレは、冷蔵機器の製造終了後も、最低10年および最長15年、スペアパーツの供給を継続します。



注意

お手入れ



ドアパッキンにオイルやグリスを使用しないでください。パッキンが劣化し、次第に気密性が低下します。



霜取りを早く行うために、メーカーが推奨していない機械的またはその他の補助器具を使用しないでください。



本機器の清掃や霜取りにスチームクリーナーを使用しないでください。
蒸気が電気部品に到達してショートを引き起こすおそれがあります。



鋭利なものや先のとがったものは蒸発器を損傷し、本機器に重大な損傷を与えるおそれがあります。鋭利なものや先のとがったものを使って

- 霜や氷層を取ったり、
- 凍りついた食品や製氷皿をはがしたりしないでください。



霜取りのために庫内に電熱器やローソクを置かないでください。プラスチック部品を傷める可能性があります。



霜取りスプレーや解氷剤は使用しないでください。プラスチック部品を傷める成分を含んでいたり、ガスを生成して健康被害につながる可能性があります。



注意

輸送



輸送中の損傷を避けるため、本機器は常に直立した状態で、出荷時の輸送用梱包に入れて輸送してください。



けがや機器の損傷の危険があります。冷蔵機器は非常に重いため、必ず2人で輸送してください。

安全上のご注意



注意

使用済み機器の廃棄処分

! 使用済み冷蔵機器にドアロックがある場合は、破壊します。幼児が誤って閉じ込められて生命の危険にさらされるのを防ぐためです。

! 冷媒の飛沫によって目を損傷する可能性があります。廃棄を待つ間、以下のようなことで配管が損傷しないように注意してください。

- コンデンサー内の冷媒回路に穴が開く
- 配管が曲げられる
- 表面の被膜がかき落される

コンプレッサーの記号（機種によって異なります）

この情報はリサイクルにのみ関連していません。通常の操作におけるリスクはありません。



コンプレッサー内のオイルは、飲み込んだり、気道に侵入したりすると致命的となるおそれがあります。

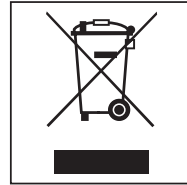
梱包材の廃棄処分

梱包材は、輸送時に本機器を保護するようにデザインされています。梱包材は廃棄する際に環境にやさしい材質を使用しているため、リサイクルすることを推奨します。

梱包材をリサイクルすることで、製造工程での原材料使用量や、ごみ廃棄場での廃棄物量を削減することができます。

使用済み機器の廃棄処分

電子機器・電気製品には、貴重な素材が含まれている場合があります。また、機器が正しく安全に機能するために不可欠な特定の物質、化合物、部品も含まれています。これらは一般ごみとして廃棄したり不適切な取扱いをしたりすると、健康や環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。したがって、不要になった機器を一般ごみと一緒に廃棄しないでください。



各自治体・販売店・ミレーが指定する電子機器・電気製品の正しい廃棄およびリサイクル方法を利用してください。廃棄前に機器から個人情報情報を削除する責任はお客様にあります。

認可された収集場所への輸送前および輸送中に、冷蔵機器の配管を破損しないように注意してください。

これは、冷却回路内の冷媒とコンプレッサー内のオイルが環境に排出されないようにするためです。

不要になった機器を処分するまでの保管中、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。詳細については、機器の取扱説明書の「安全上のご注意」を参照してください。

設置

設置場所



高湿度による破損のリスク。

湿度が高い環境では、外付けの冷蔵機器パネルに結露が発生することがあります。この結露は、外付け機器のパネルの錆の原因になることがあります。

冷蔵機器は十分に換気のできる乾燥した室内や空調の効いた室内に設置してください。

設置後、機器のドアが正しく閉まり、規定の換気口が確保されていることを確認してください。



火災または熱を発する機器による破損のリスク。

熱を発する機器は発火し、冷蔵機器に引火する可能性があります。

ミニオーブン、コンロ、トースターなど、熱を発する機器を冷蔵機器の上に置かないでください。



直火による火災や損傷のおそれがあります。

直火は冷蔵機器に引火する可能性があります。

直火（ろうそくなど）を冷蔵機器に近づけないでください。

機器は、乾燥した風通しの良い部屋に設置してください。

設置場所を決める際には、暖房器具や調理器具など熱を発する機器の近くに設置すると、冷蔵機器のエネルギー消費が多くなることにご注意ください。直射日光を避けてください。

周囲温度が高いほど、コンプレッサーの稼働時間が長くなり、エネルギー消費が多くなります。

冷蔵機器を設置する際は、以下の点に注意してください。

- コンセントと昇圧トランスは、緊急時に簡単にアクセスできるように、機器の後ろに隠れないようにしてください。
- プラグと電源コードは、冷凍機器の振動で破損する可能性があるため、冷蔵機器の背面に触れないようにしてください。
- この機器の後ろのコンセントに他の機器を接続しないでください。
- 冷蔵機器を設置するときは、昇圧トランスの電源コードが引っかかったり、破損したりしないようにしてください。
- たこ足配線、延長コード、その他の電子機器（ハロゲントランスなど）を機器の背面に配置したり使用したりしないでください。
- 設置場所の床は水平で、周囲の床と同じ高さにしてください。

気候範囲

冷蔵機器は、一定の周囲温度(気候範囲)での使用を前提に設計されています。周囲温度の設計範囲外では使用しないでください。冷蔵機器の気候範囲は、機器内の型式表示シールに記載しています。

気候範囲	周囲温度
SN	10-32℃まで
N	16-32℃まで
ST	16-38℃まで
T	16-43℃まで
SN-ST	10-38℃まで
SN-T	10-43℃まで

周囲温度が低いと、コンプレッサーのスイッチが長時間オフになります。これにより、冷蔵機器の内部温度が上昇して食品の品質が悪化したり、腐敗をまねくおそれがあります。

換気

 換気不十分による火災や損傷のおそれがあります。

冷蔵機器の換気が不十分な場合、コンプレッサーがより頻繁に、より長い時間稼働します。そのため、消費電力が増えてコンプレッサーの運転温度が上がります。これによってコンプレッサーが損傷するおそれがあります。

冷蔵機器の周囲は十分に換気されるようにしてください。

必要な換気間隙を必ず確保してください。

換気間隙が覆われたり妨げられたりしないようにしてください。

また、定期的にはこりを清掃してください。

冷蔵機器の背面の空気は暖かくなります。そのため、適切な換気のための十分なスペースを確保する必要があります(「設置寸法」参照)。

複数の冷蔵機器を設置する

 外付けの機器パネルの結露による破損のリスク。

湿度が高い環境では、外付けの冷蔵機器パネルの間に結露が発生し、錆の原因になることがあります。

異なる冷蔵機器同士を**直接**隣り合わせに**しないで**ください。

2つの冷蔵機器の間は、70 mm以上の距離を保つ必要があります。

ドアヒンジを交換する

 ドアが重いため、けがや機器の損傷の危険があります。

ドアヒンジを一人で設置するとけがや破損のリスクが高まります。

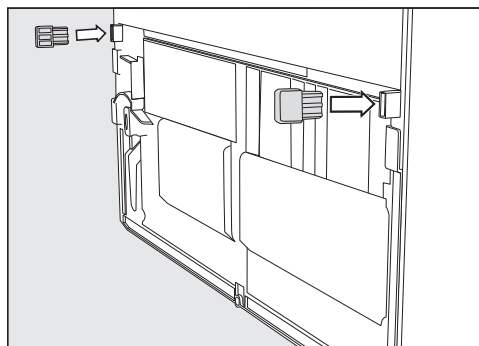
ドアヒンジの交換は必ず2人で行ってください。

本冷蔵機器は、右ヒンジで出荷されています。左ヒンジが必要な場合は、ヒンジの交換が必要です(付属の設置説明書参照)。

付属のウォールスペーサーを装着する

表示されているエネルギー消費量を達成し、高い周囲温度での結露発生を防ぐために、付属のウォールスペーサーを使う必要があります。ウォールスペーサーを装着した機器の場合、冷蔵機器の奥行きが約15 mm長くなります。

ウォールスペーサーを使用しない場合、冷蔵機器の機能には影響しません。機器と壁の間の距離が短くなり、エネルギー消費が若干増加します。



- ウォールスペーサーを冷蔵機器背面の左下と右下に取り付けます。

同梱の防虫パネルの取り付け

防虫パネルで小さい虫が冷蔵機器に入るのを防止でき、機器が正常に作動し続けるようになります。

! 防虫パネルの取り付け時に怪我や損傷のリスクがあります。

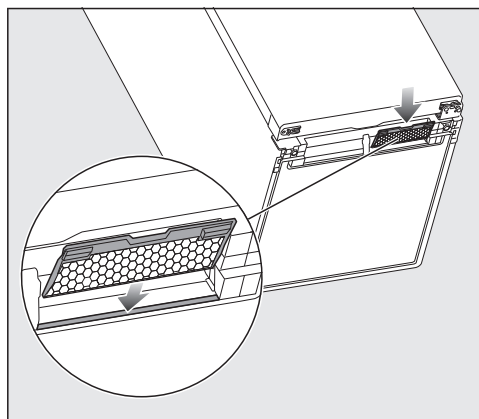
冷蔵機器は傾くと転倒する可能性があります。このため怪我や破損のリスクが高まります。

冷蔵機器は必ず2人で傾けて持ち上げてください。

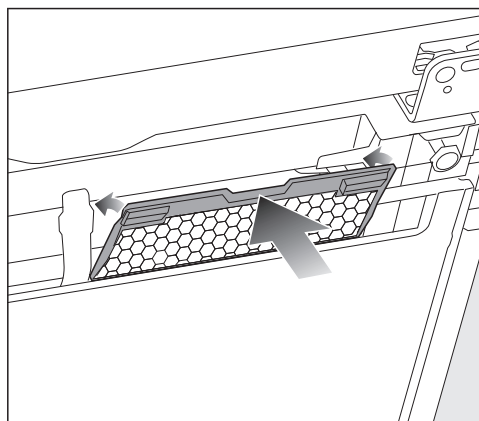
防虫パネルの取り付け前に以下の点にご注意ください：

- 冷蔵機器がオフになっていること。
- 冷蔵機器が空であること。
- 冷蔵機器は必ず2人で傾けて持つこと。

- 他の人と協力して冷蔵機器を少し後ろへ傾けます。



- 防虫パネルの後縁をくぼみの後側の溝に入れます。



- 次にパネルの前縁をカチッと音がして所定の位置に収まるまで返します。
- 二枚目の防虫パネルも同じようにして取り付けてください。
- 冷蔵機器が完全に垂直に立つように位置を正してください。

冷蔵機器を設置する

⚠ 冷蔵機器の転倒による破損やけがのリスクがあります。
冷蔵機器を一人で設置すると、けがや破損のリスクが高まります。
冷蔵機器は必ず2人で設置してください。

⚠ 衝撃によって機器のドアが破損するリスクがあります。
機器のドアが部屋の壁にぶつかり、ドアが破損する可能性があります。
部屋の壁にフェルトのストッパーを取り付けるなどして、機器のドアを保護してください。

⚠ 床が損傷するおそれがあります。
冷蔵機器を移動させる際に、床を損傷するおそれがあります。
傷が付きやすい床では慎重に冷蔵機器を移動させてください。

設置の際に便利な、移動用ハンドルが背面上部に、移動用ホイールが機器底部に備えられています。

ヒント: 冷蔵機器は必ず空の状態で設置してください。

- 設置する冷蔵機器を、設置場所のなるべく近くに置きます。
- 「電源接続」の説明に従って、冷蔵機器を電源に接続します。
- 冷蔵機器を、所定の設置場所に慎重に移動させます。
- ウォールスパーサー(使用されている場合)または背面を壁に近づけて、冷蔵機器を配置します。

設置

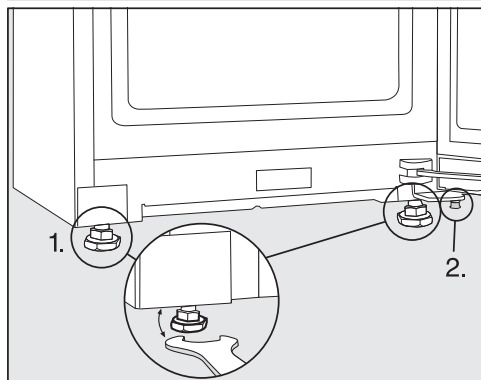
冷蔵機器の位置を合わせる

⚠ 機器のドアの落下や冷蔵機器の転倒による破損やけがのリスク。

下部のヒンジプレートにある追加の調整脚が床にしっかり固定されていないと、機器のドアが落ちたり、冷蔵機器が転倒する可能性があります。

付属のオープンスパナを使い、調整脚が床につくまでネジを緩めます。

次に、調整脚をさらに1/4回転させ、緩めます。

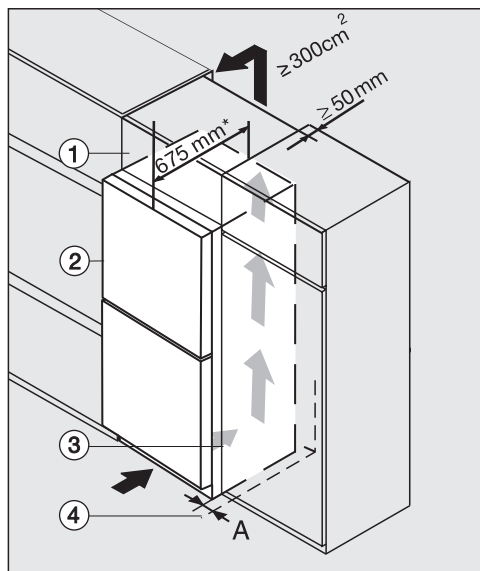


■ 水準器と付属のオープンスパナを使用して、冷蔵機器の位置を合わせ、機器のドアを支えてください。

1. 前面の調節脚を調整します。
2. 追加の調整脚を、床に触れるまでネジを緩めて出します。次に、調整脚をさらに1/4回転させ、緩めます。

連続するキッチンキャビネットに機器を設置する

冷蔵機器をキッチンキャビネットで囲むことも可能です。



K(S)/FN(S)/KFN 4xxx Xedst/cs、ws、bst、el

- ① トップボックス
 - ② 冷蔵機器、ドア奥行き=75 mm
 - ③ キッチン収納キャビネット
 - ④ 壁
- A**=25 mm(埋め込み型グリップ付き)/
60 mm(ハンドル付き)

*ウォールスパーサーを装着した冷蔵機器では、機器の奥行きが約15 mm長くなります。

 換気不十分による火災や損傷のおそれがあります。

冷蔵機器の換気が不十分な場合、コンプレッサーがより頻繁に、より長い時間稼働します。そのため、消費電力が増えてコンプレッサーの運転温度が上がります。これによってコンプレッサーが損傷するおそれがあります。

冷蔵機器の周囲は十分に換気されるようにしてください。

必要な換気間隙を必ず確保してください。

換気間隙が覆われたり妨げられたりしないようにしてください。

また、定期的にはこりを清掃してください。

換気隙間が広いほど、コンプレッサーが経済的に稼働します。

- 冷蔵機器を収納キャビネットの横に設置します。
- 機器の前面は、収納キャビネットの前面よりもドアの奥行き分以上前に出ている必要があります。これにより、干渉することなく機器のドアが開閉できます。
- 壁④の隣りに設置する場合は、ヒンジ側で壁④と冷蔵機器②との間に距離(A)を確保する必要があります。
- 他のキッチンキャビネットと高さを合わせるために、冷蔵機器に適切なトップボックス①を取り付けることができます。

トップボックスの全幅に、奥行き50 mm以上の排気ダクトを設ける必要があります。

暖かい空気が遮られることなく逃げられるよう、天井の下の換気間隙は 300 cm^2 以上を確保してください。

設置

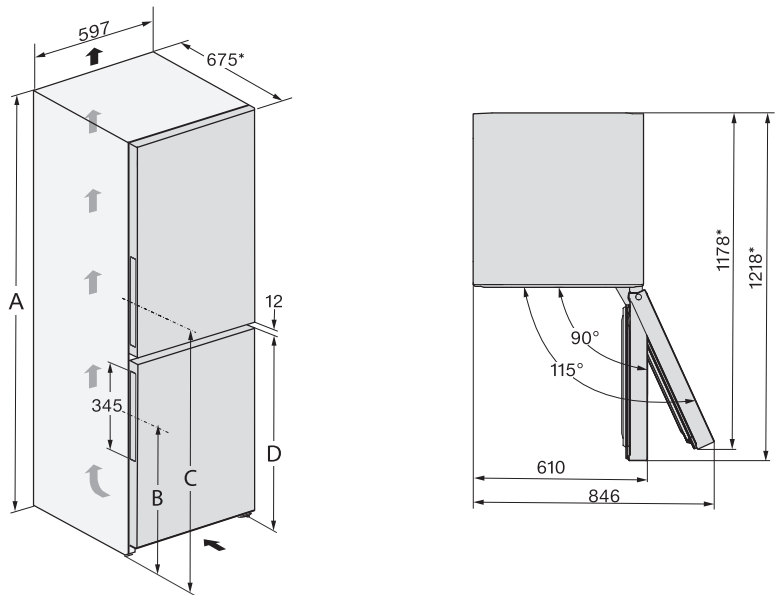
機器寸法

設置寸法/上から見た図

KFN 4375 ...

すべての寸法はmm表示です。

冷蔵機器は、指定された換気断面積が確保されていれば、正しく機能します。



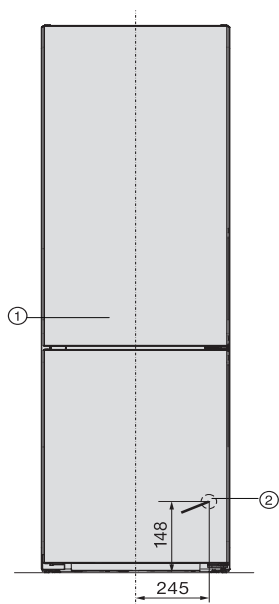
*ウォールスパーサーを取り付けない場合の寸法です。付属のウォールスパーサーを取り付けると、機器の奥行きが15 mm長くなります。

	A	B	C	D
KFN 4375 ...	1,855	594	1,061	821

接続

KFN 4375 ...

すべての寸法はmm表示です。



① 正面図

② 電源コード

設置

電源接続

冷蔵機器は、付属の昇圧トランスを使用し、付属の電源コードを使用して機器に接続した場合のみ使用できます。昇圧トランスは、必ず適切な電源ケーブルを使用して、アース付きコンセントに接続します。

コンセントと昇圧トランスは、冷蔵機器を設置した後、簡単にアクセスできるようにしてください。コンセントと昇圧トランスに簡単にアクセスできない場合、各電極の設置側に適切な切断手段を用意してください。

⚠ オーバーヒートによる火災のおそれがあります。

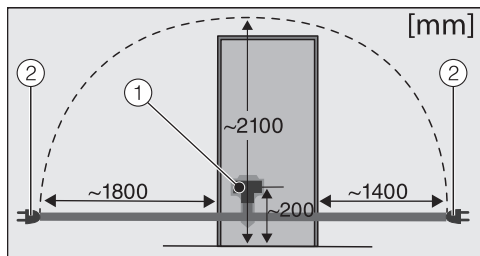
たこ足配線や延長コードに冷蔵機器を接続すると、コードに負荷がかかり過ぎる場合があります。

安全上の理由から、延長コードやたこ足配線を使用しないでください。

電源コードが破損した場合は、必ず同種の専用電源コードと交換してください(ミーレ・カスタマーサービスからご購入いただけます)。安全上の理由から、このような交換は資格を有する専門家またはミーレ・カスタマーサービスのみが行えます。

昇圧トランスの型式表示シールには、公称消費電力と適切なヒューズ定格が記載されています。この情報を設置場所の電気接続のデータと比較してください。ご不明な点は、認定技術者にご相談ください。

冷蔵機器の接続



冷蔵機器背面

①機器プラグコネクタ

②電源プラグ

■ プラグコネクタをソケットに差し込みます。

プラグコネクタが正しくはまっていることを確認します。

■ 冷蔵機器のプラグをコンセントに挿入します。

これで冷蔵機器が電源に接続されました。

エネルギーを節約する方法：

設置場所

冷蔵機器は、高い周囲温度ではより頻繁に冷却する必要があり、その過程でより多くのエネルギーを消費します。このため、次の点に注意してください：

- 換気の良い部屋に冷蔵機器を設置します。
- 本冷蔵機器を熱源（暖房機器や調理器具）の近くに設置しないでください。
- 直射日光が冷蔵機器に当たらないようにしてください。
- 理想的な周囲温度（20 ° C）を保ちます。
- ほこりを取り除くために、定期的に換気間隙を清掃します。

温度設定

温度が低いほど、消費電力量が多くなります。次の設定をお勧めします：

- 冷蔵室 4-5 ° C。
- 冷凍室 -18 ° C。

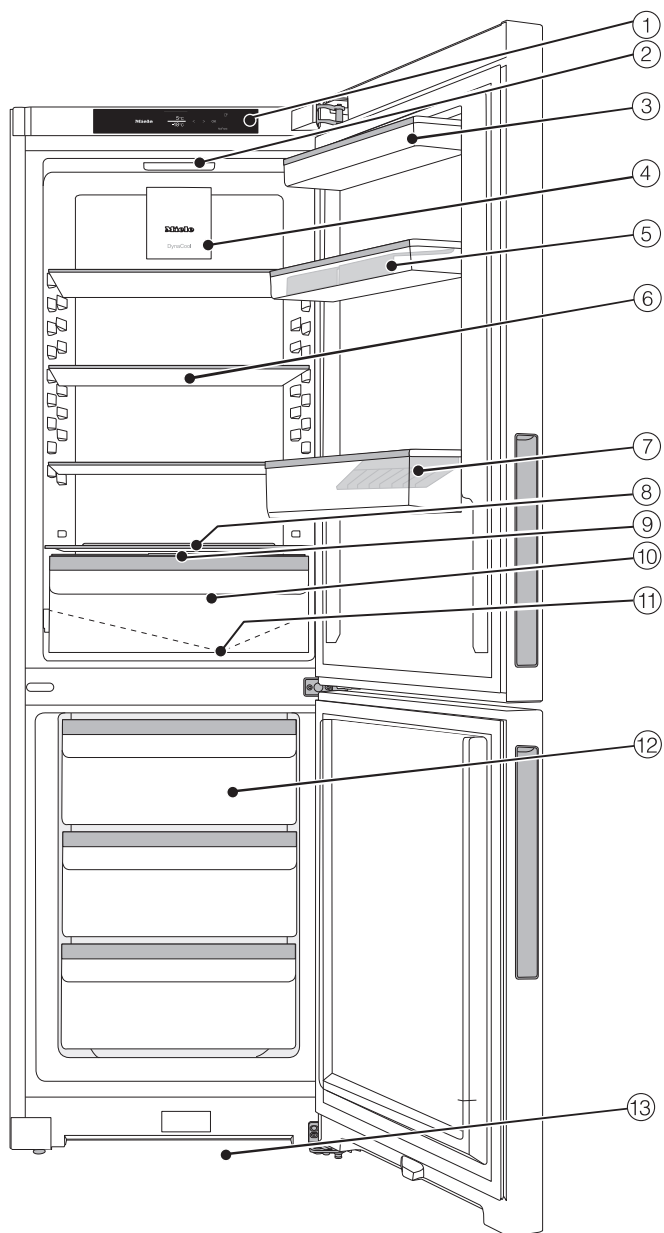
使用時

エネルギー消費は、入熱と空気循環の妨げによって増加します。このため、次の点に注意してください：

- 機器のドアは必要なときにだけ開け、できるだけ短時間にしてください。食品は、機器内で見つけやすいように配置します。
- 機器のドアを開けた後は、必ず正しく閉じてください。
- 熱い食品や飲み物は、冷蔵機器に入れる前に冷ましてください。
- 食品はしっかりパックまたはラップをして保存します。
- 空気を循環できるように、庫内に食品を詰め過ぎないでください。
- 冷凍された食品を解凍する際に冷蔵ゾーンに入れます。
- 引き出しと棚は、出荷時と同じ配置のまま使用します。
- ウォールスパーサーを使用します。冷蔵機器背面のウォールスパーサーは、表されたエネルギー消費を確実に達成するために設計されています。

機器ガイド

機器ガイド

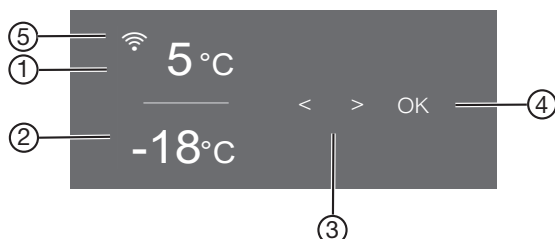


この図面はイメージです。

- ① ディスプレイ
- ② 庫内照明
- ③ ドア棚
- ④ ファン
- ⑤ エッグトレイ付きのドア棚
- ⑥ 調節可能な棚
- ⑦ ボトル棚、ボトルホルダー付き
- ⑧ 베이킹トレイ用スペース(XL庫内モデルの場合)
- ⑨ DailyFresh引き出しの湿度レベルを設定するためのコンテナカバー
- ⑩ 果物と野菜用DailyFresh引き出し (湿度制御機能付き)
- ⑪ 溝と排水口
- ⑫ 冷凍用引き出し
- ⑬ 換気間隙

機器ガイド

スタート画面付き操作パネル



- ① 冷蔵ゾーンの温度表示
- ② 冷凍室の温度表示
- ③ センサーコントロール、設定選択用
- ④ 選択を確定し、
設定モードに入るため  の OK センサーコントロール
- ⑤ Miele@home 接続ステータスの表示
(Miele@home 機能オン時のみ表示)

設定モード

設定モードでは、以下の機器機能を選択し、一定範囲内で設定変更ができます：

記号	機能	工場出荷時 設定
	パーティーモード機能をオン/オフする (「その他の設定を選択する」参照)	オフ
	ホリデーモード機能をオン/オフする (「その他の設定を選択する」参照)	オフ
	ロック機能をオン/オフする (「その他の設定を選択する」を参照)	 (オフ)
	冷蔵機器をオフする (「電源をオン/オフする」参照)	
	サバトモード機能をオン/オフする (「その他の設定を選択する」参照)	オフ

	サバトモード機能に関する情報を呼び出す	—
	ドアアラームが作動するまでの時間を変更する （「その他の設定を選択する」参照）	1:00
	キーパッド音をオン/オフする	オン
	アラームとブザーの音量を変更するか、すべてオフする （「その他の設定を選択する」参照）	オン /レベル 5
	ディスプレイの明るさを変更する （「その他の設定を選択する」参照）	レベル 4
	温度単位を変更する （摂氏または華氏）	°C
	デモモード機能をオン/オフする （オンにした時のみ表示） （「その他の設定を選択する」参照）	オフ
	初期設定にリセットする （「その他の設定を選択する」参照）	—
	冷蔵機器に関する情報（型式とシリアルナンバー）を呼び出す （「その他の設定を選択する」参照）	—
	活性炭フィルター交換のリマインダーを オンにする（「別売アクセサリー」参照） （「その他の設定を選択する」参照）	オフ
	清掃モードをオン/オフする （「清掃とお手入れ」参照）	オフ

機器ガイド

設定モード でご希望の機能を選択する

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。
-  がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。
- < > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。
- OK をタッチします。
- < > センサーコントロールを使って、ご希望の機能を選択します。
- OK をタッチして、ご希望の機能を選択します。

機能を **オン**すると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。

- OK をタッチして、機能の選択を解除します。

機能を **オフ**すると、ディスプレイの上隅の点が消えます。

設定モード を抜ける

- < > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。
- OK をタッチします。
- < > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールし、OK をタッチします。

■ あるいは：

最後にボタンを押してから約15 秒待ちます。
すると、設定モードから自動的に抜けます。

庫内の構成を調整する

ドア棚/ボトル棚を移動する

機器ドアのドア棚/ボトル棚の移動は、棚が空の状態で行ってください。

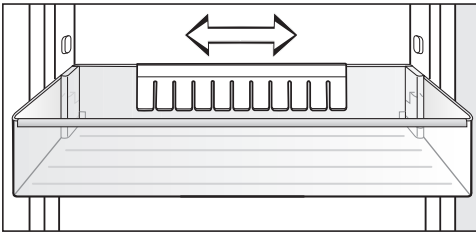
- ドア棚/ボトル棚を上を押してから、手前に引いて取り外します。
- ご希望の高さにドア棚/ボトル棚を取り付けます。

エッグトレイをはめる

- エッグトレイをドア棚の後端にはめます。

ボトルホルダーを調節する/取り外す

ボトルホルダーの滑り止めフィンは、機器のドアを開閉する際にボトルがよりしっかり保持されるようにします。



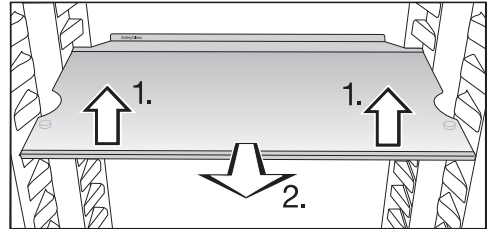
飲料パックのためのスペースを広げるために、ボトルホルダーを左右に動かすことができます。

ボトルホルダーは完全に取り外すことができます（清掃時など）：

- ボトルホルダーを引き上げて取り外します。

調節可能な棚を移動する

調節可能な棚は、食品の高さに応じて調節できます。



- 棚の手前側を少し持ち上げてから、手前に少し引き出します。
- 側面の切り欠きが棚受けと一直線になるまで持ち上げます。これにより、ご希望の位置まで棚を上下することができます。
- 棚を押し込みます。

ストッパーが、棚が誤って外れるのを防ぎます。

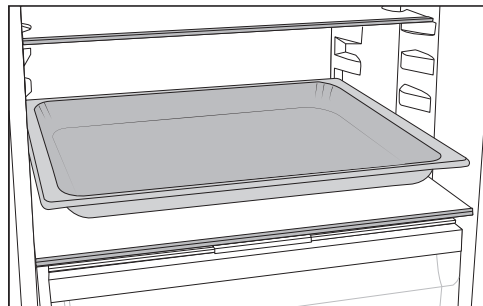
食品が機器の背面に触れて凍結するのを防ぐために、背面の保護ストリップの隆起したエッジを上に向ける必要があります。

機器ガイド

ベーキングトレイの格納スペース

引き出し上にベーキングトレイを置くことができます。ベーキングトレイは幅466 mm、奥行き386 mm、高さ50 mm を超えてはなりません。

- 機器のドアをいっぱいに開きます。



- ベーキングトレイを仕切りに置きます。

ヒント: ベーキングトレイは、室温まで冷ましてから冷蔵庫に入れます。

活性炭フィルターを移動する

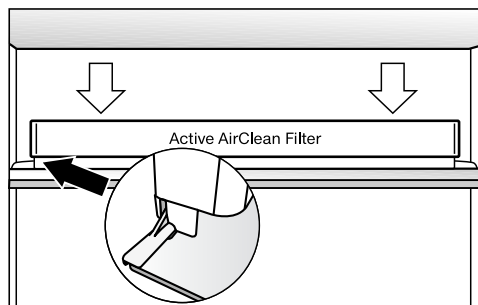
ホルダー付きKKF-FS活性炭フィルター（Active AirClean）は、別売アクセサリーとして用意されています（「別売アクセサリー」参照）。

非常に強い香りの食品（例：非常に熟したチーズ）を保存する場合：

- この食品が保存されている棚に活性炭フィルター付きのホルダーを置きます。
- 必要であれば、フィルターを早めに交換してください。
- 機器内で使う活性炭フィルター（ホルダー付き）を増やします（「別売アクセサリー」参照）。

活性炭フィルター用のホルダーは、棚の奥側にある保護ストリップ上に置かれています。

- 活性炭フィルターを移動するには、ホルダーを上引っ張って保護ストリップから取り外します。
- 次に、棚から保護ストリップを剥がします。
- 使用したい棚に取り付け直します。



- ホルダーを保護ストリップに再度取り付けます。

付属アクセサリー

エッグトレイ

ボトルホルダー

防虫パネル（モデルにより異なる）

製氷皿

別売アクセサリー

本機器のための便利なミーレアクセサリーとお手入れ製品を取り揃えています。

マイクロファイバークロス

マイクロファイバークロスは、化学薬品を使用せずに、ステンレス、ガラス、プラスチック、クロムなどの表面から指紋や軽い汚れを取り除くのに適しています。

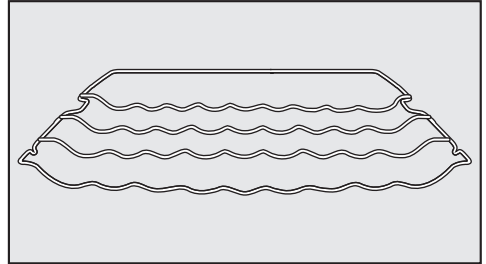
KKF-FS 活性炭フィルターホルダー付き (Active AirClean)

活性炭フィルターは、冷蔵室内の不快感臭いを中和し、空気の質を高めます。

KKF-RF Active AirClean交換用フィルター

ホルダーに合わせた交換用フィルターもご用意しています。Active AirCleanフィルターは6か月ごとの交換を推奨します。

ボトルラック



ボトルは、スペース節約のためにボトルラックを使って水平に貯蔵できます。ボトルラックは、機器内のさまざまな位置に配置できます。

整理ボックス

整理ボックスにより、冷蔵室の引き出し内の食品を分かりやすく整理するのが簡単になります。

機種によっては、整理ボックスを出し入れするために、引き出し全体を取り外さなければならない場合があります。

別売アクセサリーは、ミーレオンラインショップでご注文いただけます。ミーレ・カスタマーサービス（連絡先情報については裏表紙参照）またはミーレ販売店でもご注文いただけます。

電源をオン/オフする

初めてお使いになる前に

- 梱包材と保護フィルムをすべて取り外します。
- 機器内部とアクセサリを清掃します（「清掃とお手入れ」参照）。

冷蔵機器を接続する

- 「電源接続」の説明に従って、冷蔵機器を電源に接続します。

Miele が機器のディスプレイに表示され、続いて  が表示されます。

冷蔵機器をオンする

- 機器のドアを開けます。
- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。

冷蔵機器が冷え始め、機器のドアが開いているときは庫内照明が点灯します。

設定冷凍温度に達すると、  記号が消え、冷凍室の温度表示が点灯し、アラーム音が停止します。

- アラーム音が気になる場合は、OK をタッチします。

アラームが止まります。

機器は徐々に事前設定された温度に達します。

冷蔵機器内の温度を十分冷やすため、食品を入れる前に機器を数時間稼働させてください。設定温度に達するまで、食品を冷蔵機器に入れないでください。

冷凍室が十分に冷えるまで（少なくとも -18°C ）、食品を冷凍室に入れないでください。

冷蔵機器をオフする

設定モード  のみ、冷蔵機器全体をオフすることができます。

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。

 がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。

- < > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。

- OK をタッチします。

- < > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。

- OK をタッチします。

冷却と庫内照明がオフになります。

 とディスプレイに表示されます。

注意：冷蔵機器をオフにしても、電源からは遮断されていません。

冷蔵室だけをオフする

冷凍室をオフすることなく、冷蔵室をオフすることができます。休暇中などに便利です。

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。

 がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。

- OK をタッチします。

- < センサーコントロールを使って、 記号までスクロールします。

- OK をタッチします。

冷蔵室の温度表示が消えます。 とディスプレイに表示されます。

冷蔵室がオフになりました。

冷凍室の温度表示は点灯したままです。

冷蔵室だけを再びオンする

- OK をタッチします。

 がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。

- OK をタッチします。

- > センサーコントロールを使ってご希望の温度までスクロールし、OK をタッチします。

冷蔵室が再びオンになります。

電源をオン/オフする

長期間オフする

長期不在時に冷蔵機器をオフにしても、清掃せずにドアを閉めたままにすると、内部にカビが発生するおそれがあります。

長期不在になる前に冷蔵機器を清掃することが大切です。

冷蔵機器を長期間使用しない場合は、以下を参照してください。

- 冷蔵機器をオフにします。
- コンセントからプラグを抜くか、ブレーカーを落とします。
- 冷蔵機器を清掃し、内部に臭いがたまらないよう、ドアを少し開けて冷蔵機器に空気が通るようにします。

冷蔵室を長期間オフする場合も、上記の最後の2つの手順を実行することをお勧めします。

食品の保存寿命を長持ちさせるためには、正しい温度を設定することが非常に重要です。温度を下げると微生物の増殖速度が低下します。食品が傷む速度が低下します。

次の場合、冷蔵機器内の温度が上昇します：

- 機器のドアを開ける頻度が高く、開かれた時間が長いほど上昇
- 保存されている食品が多いほど上昇
- 庫内に入れた食品の温度が高いほど上昇
- 周囲温度が高いほど上昇。本冷蔵機器は、一定の気候クラス（周囲温度）での使用を前提に設計されています。周囲温度の設計範囲外では使用しないでください。

.. 冷蔵室内は

冷蔵室内の温度は **4 ° C** を推奨します。

... 冷凍室は

生鮮食品を冷凍するには、**-18 ° C** の温度が必要です。これにより、食品の保存期間を延ばし、品質を保つことができます。

温度が-10 ° C以上になると、バクテリアが食品中で再び活性化するため、食品を長く保存することができなくなります。このため、部分的に解凍、または解凍した食品を再び冷凍しないでください。調理時の高温によりほとんどのバクテリアが死滅するため、一度調理した食品は再冷凍することができます。

適切な温度

温度表示

通常運転時では、温度表示に **現在の冷蔵室の平均温度** と **冷凍室の最高温度** が表示されます。

周囲温度と温度設定によっては、機器が必要な温度に到達し、その温度がディスプレイに一定温度として表示されるまでに数時間かかる場合があります。

冷蔵室/冷凍室の温度を設定する

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。
-  がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。
- 必要であれば、< > センサーコントロールを使って、選択した温度ゾーンを変更します。
- OKをタッチします。
- < と > センサーコントロールを使って温度を変更します。
- OKをタッチします。

温度表示が、対応する温度ゾーンの現在の温度に戻ります。

温度設定範囲

- 冷蔵室：2 ～ 9° C
- 冷凍室：-26 ～ -15° C

温度設定を変更した場合：

- 数時間後に温度表示を確認してください。機器が正確な温度の読み取りを行うには、このぐらい長い時間がかかります。
- 冷蔵機器があまり一杯でない場合は、約6 時間待ちます
- 冷蔵機器が満載の場合は、約24 時間待ちます。

もしこの時間が経過した後も、まだ温度が高すぎたり低すぎたりする場合：

- 再度、温度を調整してください。

SuperCool、SuperFreeze、DynaCoolを使う

SuperCool❄

スイッチを入れると、SuperCool機能❄で**冷蔵庫ゾーン**の温度を急速に下げて最低設定温度にすることができます(周囲温度による)。冷蔵機器はフル電力で稼働し、温度を下げます。大量の生鮮食品や飲み物を急速に冷やすには、この機能を選択します。

SuperCool機能❄をオンすると、機器から通常よりも多くの動作音が発生する場合があります。

SuperCool機能❄は、食品や飲み物を冷蔵庫に入れる直前にオンにしてください。

SuperCool機能❄は約12時間後に自動的にオフになります。その後、冷蔵機器は再び通常のパワーで稼働するようになります。

ヒント: エネルギー節約のため、食品や飲み物が十分に冷えたら手動でSuperCool機能❄をオフにすることができます。

SuperCool❄をオン/オフする

- 操作パネルのOKセンサーコントロールをタッチします。
- がディスプレイに表示されます(冷蔵室が選択されています)。
- OKをタッチします。
- <センサーコントロールを使って、❄記号までスクロールします。
- OKをタッチします。
- SuperCool機能❄が**オン**になると、ディスプレイ^①の上部に点が表示されます。
- >センサーコントロールを使って、ご希望の温度までスクロールし、OKをタッチします。

SuperCool、SuperFreeze、DynaCoolを使う

SuperFreeze

オンすると、SuperFreeze機能  は **冷凍室** の温度を最低設定（周囲温度による）まで急速に下げするために使うことができます。冷蔵機器はフルパワーで稼働し、温度を下げます。生鮮食品を冷凍する前にこの機能を選択します。これにより、食品が急速に冷凍し、栄養素、ビタミン、風味、外観を保つのに役立ちます。

SuperFreeze機能  をオンすると、機器から通常よりも多くの動作音が発生する場合があります。

SuperFreeze機能は、冷凍室に食品を入れる **約6 時間前** にオンにします。
最大量の食品 を冷凍する場合は、**24 時間前** にSuperFreeze機能  をオンにします。

SuperFreeze機能  は約72 時間後に自動的にオフになります。冷蔵機器は通常のパワーでの稼働に戻ります。冷凍室に入れた生鮮食品の量によって、オフになるまでの時間が決まります。

ヒント: エネルギー節約のため、食品や飲み物が十分に冷えたらご自身でSuperFreeze機能をオフすることができます。

次の場合、SuperFreeze機能をオンする必要はありません：

- 冷凍済みの食品を冷凍室に入れる場合
- 毎日 2 kg 以下の生鮮食品しか冷凍しない場合

SuperFreeze をオン/オフする

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。
-  がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。
- > センサーコントロールを使って、 記号までスクロールします。
- OKをタッチします。
- < センサーコントロールを使って、 記号までスクロールします。
- OKをタッチします。

SuperFreeze機能  を **オンする** と、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。

- < > センサーコントロールを使って、ご希望の温度までスクロールし、OKをタッチします。

SuperCool、SuperFreeze、DynaCoolを使う

DynaCool ㊦

DynaCool機能 ㊦ がオンになっていない場合、冷たくて重い空気が機器の最下部に沈むため、機器内の自然な空気の循環により、冷蔵庫内に異なる温度ゾーンが発生します。機器に食品を入れるときは、このことにご注意ください(「冷蔵室に食品を保存する」参照)。

ただし、一週間分の買い物の後など、同じような食品を一度に大量に冷蔵庫に保存する場合は、DynaCoolをオンにすることをお勧めします。このようにして、機器内のすべての調節可能な棚の温度をより均等に分配できるため、冷蔵庫内内のすべての食品がほぼ同じ程度に冷やされます。温度は温度制御で通常通りに設定します。

また、次のような場合にもDynaCool機能 ㊦ をオンにしてください。

- 周囲温度が高い(約35℃以上)
- 湿度が高い(夏など)

コンプレッサーがオンになると、ファンが必ず自動的にオンになります。

ヒント: DynaCool ㊦ をオンにすると消費電力が増えるため、通常の状態ではDynaCool ㊦ 機能を再度オフにしてください。

エネルギーを節約するために、ドアが開いている間はファンは自動的にオフになります。

DynaCool ㊦ をオン/オフする

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。
 - ㊦ がディスプレイに表示されます(冷蔵室が選択されています)。
 - OKをタッチします。
 - < センサーコントロールを使って、㊦ 記号までスクロールします。
 - OKをタッチします。
- DynaCool ㊦ 機能を **オンする**と、ディスプレイ ①の上隅に点が表示されます。
- > センサーコントロールを使ってご希望の温度までスクロールし、OKをタッチします。

その他の設定を選択する

さまざまな設定の説明

以下では、さらに説明が必要な設定についてのみ説明します。

設定モード  にいる間は、ドアアラームやその他の警告は自動的に無効になります。

パーティーモード

大量の生鮮食品や飲み物をすばやく冷やしたり凍らせたりしたい場合は、パーティーモード機能  をお勧めします。

ヒント: 機器に食品や飲み物を入れる約4 時間前に、パーティーモード機能  をオンにします。

パーティーモード  をオンすると、DynaCool 、SuperCool、SuperFreeze  の各機能が自動的にオンになります。

冷蔵室がオフ、あるいはホリデーモード  がオンになっている場合、パーティーモード  をオンすることはできません。

パーティーモード機能  は、約24 時間後に自動的にオフになります。ただし、パーティーモード機能  を早くオフすることはいつでも可能です。

ホリデーモード

ホリデーモード機能  は、休暇などで不在にする際に、冷蔵室を完全にオフにしたいくない場合や、強い冷却が必要ない場合などに便利です。

ホリデーモード  がオンになっている場合、これはスタートディスプレイに表示されます。

冷蔵室は15 ° Cの温度に調整され、エネルギーを節約しながら稼働を続けます。

冷凍室は、以前に設定された温度でオンのままになります。

すぐに傷まない食品は、冷蔵機器の控えめな温度でしばらくの間機器に保存することができます。消費電力量は通常動作時よりも低くなります。

これにより、冷蔵室をオフにし機器のドアが閉まった状態にした場合に発生するおそれのある臭いやカビの蓄積を防ぐこともできます。

 腐敗した食品による健康リスクがあります。

長期間、冷蔵ゾーンの温度が4 ° Cより高い状態が続くと、食品の品質が低下する場合があります。

ホリデーモード機能  は限られた期間に限ってオンにしてください。

この間、果物、野菜、魚、肉、乳製品など、温度に敏感な食品を保存しないでください。

その他の設定を選択する

ロック機能 / をオンする

ロック機能  をオンすると、冷蔵機器をうっかりオフしたり、お子様などによって意図せず設定変更されたりするのを防ぐことができます。

- 設定モード  で、<> センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。

- OKをタッチします。

ロック機能  をオンすると、ディスプレイ・の上隅に点が表示されます。

- 機器のドアを閉めます。この時点で初めて、ロック機能  が有効になります。

ロック機能 / を一時的に無効にする

たとえば、温度を調整したい場合は、ロック機能を一時的に無効にすることができます：

- OKをタッチします。

 とディスプレイに表示されます。

- OK センサーコントロールを約6 秒タッチします。

 がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。

- 必要であれば、<> センサーコントロールを使って、選択した温度ゾーンを変更します。

- OKをタッチします。

- ここで、ご希望の設定を選択します。

- OKをタッチします。

機器のドアを閉じると、ロック機能が再び有効になります .

ロック機能 / をオフする

- OKをタッチします。

 とディスプレイに表示されます。

- OK センサーコントロールを約6 秒タッチします。

 がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。

- <> センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。

- OKをタッチします。

- <> センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。

- OKをタッチします。

ロック機能をオフすると、ディスプレイに  が表示されます。

その他の設定を選択する

サバトモード

本機器は、宗教上の慣習に対応したサバトプログラムを備えています。

サバトモード  がオンになっている場合、スタート画面に表示されます。

3 秒後にディスプレイがオフになります。

サバトモード  がオンになっていると、本冷蔵機器に対して設定は何も行うことができません。

アラームの表示や音はオフとなるため、機器のドアが正しく閉まっていることを確認してください。

サバトモード機能  は約120 時間後に自動的にオフになります。

サバトモード  がオンになっている場合、以下は無効になります：

- ドアを開けたときの庫内照明
- すべての通知音と表示
- 温度表示

以前にオンにされた他の機能はすべて有効のままです。



腐敗した食品による健康リスクがあります。

サバトモード  が有効な間は、停電時のアラームも表示されないため、食品は一定期間高温にさらされる場合があります。これは食品の保存寿命を短くしてしまいます。

サバトモード  中に停電が発生した場合は、食品の品質を確認してください。

サバトモード をオンする

■ 設定モード  で、< > センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。

■ OKをタッチします。

サバトモード機能  をオンすると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。

ディスプレイは3 秒後にオフになります。

■ 機器のドアを閉めます。

サバトモード をオフする

■ OK センサーコントロールをタッチします。
 とディスプレイに表示されます。

■ OKをタッチします。

サバトモード機能  をオンすると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。

■ OKをタッチします。

サバトモード機能  をオフすると、ディスプレイの上隅の点が消えます。

サバトモード に関する情報

本製品は、コーシャ認証の国際機関であるStar-Kによって認証されています。Star-K認証バージョンをここで確認できません。

その他の設定を選択する

ドアアラーム が作動するまでの時間を変更する

機器のドアが開いた後、ドアアラームが鳴るまでの時間を設定できます。

- 設定モード  で、<> センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。
- OKをタッチします。
- <> センサーコントロールを使って、ご希望の時間を30 秒から3 分の間に設定します。
- OKをタッチします。

アラーム音とブザーの音量を調整する /

アラーム音とブザーの音量を調整できます（ドアアラームやエラーメッセージが発生した場合など）。アラーム音やブザーをオフすることもできます。

- 設定モード  で、<> センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。
- OKをタッチします。
- <> センサーコントロールを使って、アラーム音とブザーの音量をご希望に合わせて選択します。
- OKをタッチします。

アラーム音とブザーがオフになると、ディスプレイに  が表示されます。

その他の設定を選択する

ディスプレイの明るさ☀を調整する

部屋の照明状態に合わせてディスプレイの明るさを調整できます。

- 設定モード☼で、<> センサーコントロールを使って記号☀までスクロールします。
- OKをタッチします。
- <> センサーコントロールを使って、ご希望のディスプレイの明るさを選択します。
- OKをタッチします。

デモモード■をオフする■

デモモード■では、冷却システムをオンすることなく、冷蔵機器をショールームでデモできます。この設定は、ご家庭での使用には必要ありません。

デモモードが初期設定としてオンになっている場合、冷蔵機器をオンすると、ディスプレイに■が表示されます。

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。

最初に Miele がディスプレイに表示され、続いてスタート画面が表示されます。

- OKをタッチします。
- 設定モード☼で、<> センサーコントロールを使って記号■までスクロールします。
- OKをタッチします。

デモモード■をオフすると、冷蔵機器がオフになるため、再度オンにする必要があります。

その他の設定を選択する

設定を初期設定にリセットする

冷蔵機器の設定は、工場出荷時設定にリセットされます（設定については、「機器ガイド」参照）。

- 設定モード  で、<> センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。
- OKをタッチします。
- > センサーコントロールを使って、 記号までスクロールします。
- OKをタッチします。

冷蔵機器がオフになるため、再度オンにする必要があります。

情報

機器データ（型式と製造番号）がディスプレイに表示されます。

次のような場合、この機器データをお手元にご用意ください。

- 冷蔵機器をWiFiネットワークに統合する（「その他の設定の選択：Miele@home」を参照）（モデルにより異なる）。
- 機器の異常をミーレ・カスタマーサービスに報告する（「サービス」を参照）。
- EPRELデータベースから情報を取得する（「サービス」を参照）。

活性炭フィルター交換表示

活性炭フィルター（別売アクセサリ）を挿入した後、設定モード  で活性炭フィルター変更表示  を有効にする必要があります。

スタート画面の活性炭フィルター交換表示  は、約6か月ごとに活性炭フィルターを交換するように促します。（「清掃とお手入れ」-「活性炭フィルターを交換する」参照）。

清掃モード

清掃モード  を使用すると、冷蔵ゾーンの清掃が簡単になります（「清掃とお手入れ」参照）。冷蔵ゾーンはオフになりますが、庫内照明はオンのままです。ブザーが止まり、ディスプレイの記号も消えます。

清掃モード  がオンになっている場合、これはスタートディスプレイに表示されます。

清掃後、清掃モード  をオフにする必要があります。機器のドアが10分以上閉じられると、清掃モード  は自動的にオフになります。

温度とドアのアラーム

 腐敗した食品による健康リスクがあります。

冷凍室の温度が-18℃を超える状態が長時間続くと、冷凍した食品が解け始める場合があります。これは食品の保存寿命を短くしてしまいます。

冷凍した食品が解け始めていないか確認してください。解け始めていた場合、食品が安全に使用できるか確認してから、できるだけ早く使用するか、調理してから再冷凍してください。

温度アラーム

本冷蔵機器には温度アラームが搭載されており、冷凍ゾーン内の温度が知らないうちに高くなるのを防ぎます。

冷凍室の温度が高くなりすぎると、 が冷凍室の温度ディスプレイに表示されます。アラーム音が、原因が解消されるか、アラームをオフにするまで、鳴り続けます。

機器の設定温度によって、機器が温かすぎると検知する温度が決まります。

ドアアラームが作動している場合、その前に温度アラームが表示されます。通知音と表示は、次のような場合に作動することがあります。

- 冷蔵機器をオンにしたら、温度ゾーンの温度が設定温度と大きく異なった。
- 冷凍された食品を出し入れする際に、暖かい室内の空気が冷凍室に大量に流れ込んだ。
- 一度に大量の食品を冷凍している。
- 温かい食品を冷凍している。
- 停電が発生した。
- 冷蔵機器に異常がある。

温度アラームをオフする前に、原因を特定して修正してください。

アラーム音が気になる場合は、早めにオフすることができます。

■ OKをタッチします。

アラームメッセージが確認されました： が消え、アラームが止まります。

スタート画面がディスプレイに表示されます：冷凍室で記録された最高温度がディスプレイに約1分間点滅します。その後、温度表示が冷凍室の現在温度に変わります。

アラームが止まります。温度が再び正しいレベルに到達すると、 記号が消えます。

ドアアラーム

本冷蔵機器にはドアアラームが搭載されており、ドアの開けっ放しによるエネルギー消費の増加および食品が温まるのを防ぎます。

機器のドアを長時間開けたままにすると、対応する温度表示に が表示されます。アラーム音も鳴ります。

ドアアラームが作動するまでの時間を変更できます。ただし、ドアアラーム音をオフすることもできます（「その他の設定を選択する」参照）。

ドアが閉じられるとすぐにアラーム音が止まり、ディスプレイに が表示されます。

ドアアラーム音を早めにオフする

アラーム音が気になる場合は、早めにオフすることができます。

■ OKをタッチします。

アラーム音が止まり、 記号が消えます。

機器のドアが閉じていない場合、アラーム音は3分後に再び鳴ります。

冷蔵室に食品を保存する

⚠ 可燃性のガス混合物による爆発のおそれがあります。

電気部品が可燃性のガス混合物を発火させる場合があります。

冷蔵機器に、爆発物または高圧ガスを含む製品（スプレー缶など）を保存しないでください。該当するスプレー缶は、印刷された内容物表示や火のマークによって確認することができます。電気部品は、漏れたガスを発火させる場合があります。

⚠ 油脂を多く含む食品による損傷のおそれがあります。

油脂を多く含む食品を庫内やドアに保存する場合は、プラスチック部品に食品が接触しないように注意してください。応力亀裂やプラスチックの破損を引き起こす場合があります。

冷蔵機器のプラスチック部分に脂肪や油が漏れないよう注意してください。

空気の循環が不十分だと、冷却性能が低下し、エネルギーの消費量が増加します。

空気が効率的に循環するよう、食品を詰めすぎないでください。

機器背面のファンを覆わないでください。

各種保存ゾーン

自然な空気な対流によって、冷蔵室内には温度の違うゾーンがあります。

冷たく重い空気は、冷蔵室内の最下部に沈みます。食品を機器に入れる際は、異なるゾーンを活用してください。

本冷蔵機器にはダイナミッククーリング機能が搭載されており、ファンが稼働しているとき均一な温度の維持を助けます。したがって、各ゾーン間の温度差はそれほど顕著ではありません。

最も温かいエリア

冷蔵室内で最も温かいエリアは、手前側およびドア内、それぞれの最上部です。ここはバターやチーズの保存に使用してください。

冷蔵庫に食品を保存する

最も冷たいエリア

冷蔵庫ゾーンの最も冷たいエリアは、DailyFresh引き出しの真上と、機器の奥側です。

4 ° Cの温度設定と適切な衛生管理により、サルモネラ菌やリステリア菌など、深刻な食中毒につながる細菌の繁殖を遅らせます。

そのため、これらのエリアを使用して、次のようなデリケートで傷みやすい食品を保存してください。

- 魚、肉、鳥肉
- ハム類、調理済み食品
- 卵や生クリームを含む料理や焼き菓子
- 調理前の生地、ケーキミックス、ピザやキッシュの生地
- 生乳チーズ、その他の生乳製品
- パック野菜
- その他の生鮮食品(約4 ° Cの温度で保存することが記載されているもの)

ヒント: 食品は、冷蔵庫ゾーンの後壁に触れないようにしてください。食品が後壁に凍り着く可能性があります。

冷蔵庫内での保存に適さない食品

低温に敏感な食品もあり、すべての食品が5 ° C以下での保存に適しているわけではありません。食品によっては、保存温度が低すぎると、外観、均一性、風味やビタミン含有量が変化する場合があります。

低温に敏感な食品の例：

- パイナップル、アボカド、バナナ、ザクロ、マンゴー、メロン、パパイヤ、パッションフルーツ、およびレモン、オレンジ、みかん、グレープフルーツといった柑橘系の果物
- 果物（まだ熟していないもの）
- なす、きゅうり、じゃがいも、ピーマン、トマト、ズッキーニ
- ハードチーズ（パルメザン、マウンテンチーズなど）

食品ご購入時の注意点

機器に入れた時点での食品の鮮度は、鮮度が保たれる期間を決める最も重要な要素です。賞味期限と適切な保存温度を考慮に入れてください。

例えば高温の車内での食品の運搬など、冷蔵庫の外にある時間は最小限にしてください。

食品の正しい保存法

冷蔵庫内に保存されている食品は適切にパックまたはラップするようにしてください
(DailyFresh引き出しでは一部例外が適用されます)。

これにより、食品の臭いが他の食品に移ったり、乾燥したりするのを防ぎ、また最近の相互汚染を防止することができます。これは、肉類の保存時に特に重要です。特に生肉や生魚が他の食品と接触しないように注意してください。

温度設定が正しいことを確認し、適切な衛生対策を講じることで、食品の保存寿命を大幅に延ばすことができます。これにより、食品の廃棄を回避できます。

たんぱく質が豊富な食品

たんぱく質が豊富な食品は、他の食品よりも早く傷むことに注意してください。例えば、貝は魚よりも早く傷み、魚は肉よりも早く傷みます。

DailyFresh引き出しに食品を保存する

DailyFresh引き出しは、果物や野菜に最適な保存状態を提供します。

DailyFresh引き出しの湿度は、保管する食品に合わせて調整することもできます。食品は、より高い湿度で保存された場合、食品自体の水分を保持するため、すぐに乾きません。温度は冷蔵ゾーンの温度とほぼ同じです。

食品が機器に入れた時点で新鮮であるほど、新鮮な状態が長続きます。

果物と野菜用の DailyFresh 引き出しの湿度レベルを調整する

ラップをかけずに保存した場合、水分量は保存する食品の種類や量に大きく左右されます。

このコンテナに保存される食品の量が少ない場合、湿度が低すぎる可能性があります。

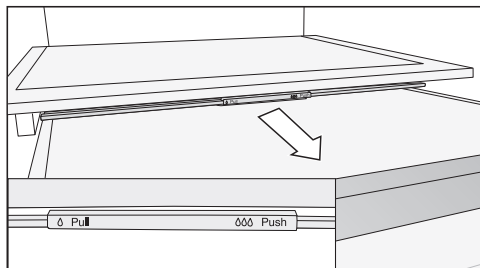
ヒント: 食品を少量しか保存しない場合は、密閉包装をしてください。

低い湿度を選択する△

本機器は、湿度を上げ、コンテナカバーを後方に押し込んだ状態で出荷されています△△△。

DailyFresh引き出しに過度の湿気がある場合のみ、この位置を変更してください。

- DailyFreshの引き出しを開けます。

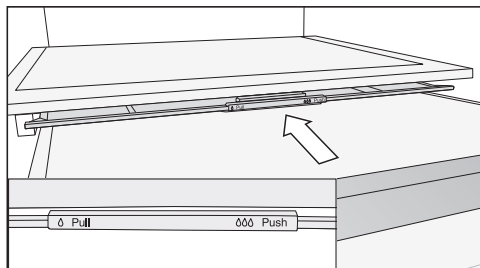


- コンテナカバーを前方にできるだけ引き出します。

コンテナカバーが開いていて、湿度が下がっています△。

高い湿度を選択する△△△

- DailyFreshの引き出しを開けます。



- コンテナカバーを奥までスライドさせます。

コンテナカバーが閉まり、コンテナ内に湿気が残ります△△△。

DailyFresh引き出しに食品を保存する

食品がうまく保存されない（例えば、短時間保存しただけで食品が傷む）場合には、次のヒントをお試しください：

- 機器に入れるのは新鮮な食品のみにしてください。食品の最初の状態は、鮮度を維持するために重要です。
- 食品を保存する前に、DailyFresh 引き出しを清掃します。
- 非常に濡れた食品は、保存する前に水を切っておきます。
- 低温に敏感な食品は DailyFresh 引き出しで保存しないでください（「冷蔵ゾーンで食品を保存する」 - 「冷蔵ゾーンでの保存に適さない食品」参照）。
- コンテナカバーを正しい位置にセットします（湿度アップしない δ 、または湿度アップ $\delta\delta$ ）。
- 湿度制御コンテナ内の湿度アップのレベル $\delta\delta$ は、ラップせずに保存されている食品の水分によって実現します。コンテナに保管されている食品が多いほど、湿度が高くなります。
- $\delta\delta$ 設定時にコンテナに水分が溜まりすぎて食品が影響を受ける場合は、コンテナの底を乾かし、ラックなどをコンテナに置いて、余分な水分が下に落ちるようにします。または、コンテナカバーを手前に引いて湿度 δ を下げます。
- $\delta\delta$ 設定でも湿度が低すぎる場合は、食品を密閉包装します。

食品の冷凍と貯蔵をする

生鮮食品を冷凍する

 腐敗した食品による健康リスクがあります。

冷凍室の温度が -18°C を超える状態が長時間続くと、冷凍した食品が解け始める場合があります。これは食品の保存寿命を短くしてしまいます。

冷凍した食品が解け始めていないか確認してください。解け始めていた場合、食品が安全に使用できるか確認してから、できるだけ早く使用するか、調理してから再冷凍してください。

生鮮食品はできるだけ早く冷凍してください。食品の栄養分、ビタミン量、外観、味が損なわれないようにするためです。

食品を急速に冷凍すると、細胞は水分を失う時間が少なくなるため、収縮が抑えられます。水分の損失が少ないため、解凍時に食品が再吸収しやすく、解凍した食品の周りに水分がほとんどたまりません。

最大冷凍容量

冷凍庫に入れた生鮮食品ができるだけ早く中心部まで冷凍するために、最大冷凍能力を超えないようにしてください。本機の冷凍能力はフォースターに区分されます。

冷凍食品を保存する

冷凍食品を購入して冷凍室に保存する際には、以下を確認してください：

- パックが破損していないこと
 - 消費期限
 - 冷凍食品が店内に保存されている温度が -18°C 以下であること
- 可能であれば、買い物時に冷凍食品を保冷バッグに入れて、すばやく冷蔵機器に保存します。

ホームフリージング

食品を冷凍室に入れる前に

- 2 kg を超える生鮮食品を冷凍する場合は、食品を冷凍室に入れる前に、SuperFreeze  機能を6 時間オンにしてください。
- さらに大量の食品を冷凍する場合は、食品を冷凍室に入れる前に、SuperFreeze  機能を24 時間オンにしてください。

これは、すでに冷凍室に保存されている食品が冷凍状態を保つのに役立ちます。

- 状態のよい生鮮食品のみを冷凍してください。

一部の食品は冷凍に適していないことに注意してください。例えば、レタスや大根など、通常は生で食べられる野菜がこれに含まれます。

ヒント: 野菜は、色、味、香り、ビタミンCを保つため、冷凍する前に湯通してください。小分けして、沸騰したお湯に野菜を1つずつ入れ、2-3 分間浸します。野菜を取り出して氷水に入れて一気に冷やします。野菜を水切りします。

食品の冷凍と貯蔵をする

冷凍する食品をパックする

- 冷凍するときには、食品を小分けにします。

ヒント: 冷凍焼けを防ぐために適切な包装（冷凍保存容器など）を使用してください。

- 包装からできるだけ空気を押し出し、しっかりと閉めます。
- 冷凍した中身と日付を包装に記入します。

冷凍食品を冷凍室に入れる

 食品が重すぎると、破損を引き起こすおそれがあります。

重量のある食品を入れると、冷凍用引き出し/ガラス棚が破損するおそれがあります。それぞれの最大容量を超えないようにしてください：冷凍用引き出し = 15 kg
ガラス棚 = 35 kg

冷凍されていない食品は、冷凍済みの食品に触れないようにしてください。冷凍済みの食品が解け始めてしまいます。

- 冷凍時に食品同士がくっつくのを防ぐため、パックや容器が乾いた状態であることを確認してください。

食品を素早く中心まで凍らせるために、以下のパックや容器のサイズを超えないようにしてください。

- 果物と野菜：最大1 kg
- 肉類：最大2.5 kg

- 少量の食品を冷凍する

上段の冷凍用引き出しに食品を収納します。

- 素早く中心まで凍るように、**上段**の冷凍用引き出しの底に平らに食品を置きます。

- VarioRoom：最大量の食品を冷凍する(型式表示シール参照)

換気スロットが塞がれていると、冷却性能が低下し、消費電力量が増加します。

食品を冷凍室に入れるときは、換気スロットが塞がれていないことを確認してください。

ヒント: 冷凍室で利用可能なスペースを広げることができます。七面鳥やジビエ肉などの大型の冷凍した食品を冷凍したい場合は、冷凍用引き出しの間のガラス棚を取り外すことができます。

- 上段の冷凍用引き出しを取り外します。
- 素早く中心まで凍るように、食品を上部のガラス棚に平らに置きます。

冷凍後：

- SuperFreeze機能❄️をオフにします。
- 冷凍した食品を冷凍用引き出しに入れ、押し戻します。

食品の冷凍と貯蔵をする

冷凍した食品の保存期間

食品グループ	保存期間 (月)
アイスクリーム	2-6
パン、焼き菓子	2-6
チーズ	2-4
魚（脂肪多め）	1-2
魚（脂肪少なめ）	1-5
ソーセージ、ハム	1-3
ジビエ、豚肉	1-12
鳥肉、牛肉	2-10
野菜、果物	6-18
ハーブ類	6-10

記載の保存期間はあくまでも目安です。

標準的な冷凍方法については、パッケージに書かれた注意事項に従ってください。

冷凍室を -18°C の一定温度に保ち、適切な衛生対策を講じることで、食品の保存寿命を最大限に延ばし、食品の廃棄を回避できます。

飲み物をすばやく冷やす

冷蔵庫で飲み物をすばやく冷やすには、SuperCool機能  をオンにします。

大量の飲み物を冷やしたい場合や、冷凍室で飲み物を冷やしたい場合は、設定モード  でパーティーモード  を選択します。

冷凍室で飲み物を急速に冷やすときは、ボトルを **1 時間以上** 入れたままにしないでください。破裂する場合があります。

アクセサリーを使う

氷を作る

- 製氷皿の3/4を水で満たし、いずれかの冷凍用引き出しの底面に置きます。
- 冷凍後、もし製氷皿が引き出しに固着してしまった場合は、スプーンの柄などで外してください。

ヒント: 氷は、トレイをゆっくりとひねるか、冷たい水を短時間かけることで、トレイから簡単に取り出すことができます。

冷蔵室とDailyFresh引き出し

冷蔵室とDailyFresh引き出しは、自動的に霜取りされます。

コンプレッサーの運転中に、冷蔵室の後壁に結露が発生することがあります。これを取り除く必要はありません。

結露は、溝と排水口を通して、冷蔵機器の背面にある蒸発システムに排水されます。排水された結露は、コンプレッサーから発生する熱で自動的に蒸発します。

溝と排水口は清潔に保ってください。結露は、常に妨げられることなく排水できる必要があります。

冷凍ゾーン

本機器は「NoFrost（ノーフロスト）」システムを装備しています。冷蔵機器は自動的に霜取りされます。

機器内でできた水滴はコンデンサーに集まり、コンデンサーによって時々自動的に解凍されて放散されます。

この自動霜取りシステムにより、冷凍室は常に氷のない状態を保つことができます。冷凍室に保存された食品は、このシステムでは霜取りされません。

清掃とお手入れ

冷蔵機器の庫内にある型式表示シールは絶対に取り外さないでください。これには、異常が発生した場合に必要な情報が含まれています。

電子ユニットや照明に水が入らないようにしてください。

 蒸気の侵入による破損のおそれがあります。

スチームクリーナーからの蒸気は、プラスチックや電気部品に損傷を与える場合があります。

冷蔵機器の清掃にスチームクリーナーを使用しないでください。

排水口に洗淨水が入らないようにしてください。

洗剤

冷蔵機器の庫内に使用する洗剤やコンディショニング剤は、食品に使っても安全でなければなりません。

機器表面の損傷を防ぐために、以下のものは**使用しないでください**：

- ナトリウム化合物、アンモニア、酸、塩素系漂白剤を含む洗剤
- カルキ除去剤を含む洗剤
- 研磨剤入りの洗剤（磨き粉、液体クレンザー、軽石など）
- 溶剤を含む洗剤
- ステンレス用の洗剤
- 食器洗い機用洗淨剤
- オープン用スプレー
- ガラス用洗剤
- 硬い研磨スポンジやブラシ（鍋磨き用スポンジなど）
- メラミンスポンジ
- 尖った金属製スクレイパー

機器表面の清掃には、少量の洗淨液を入れたぬるま湯と洗淨用スポンジお勧めします。

清掃のために冷蔵機器を準備する

冷蔵室のみ清掃する：

清掃モード  をオンにします。冷蔵室の冷却システムはオフになりますが、庫内照明はオンのままです。

- 設定モード  で、<> センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。

- OKをタッチします。

清掃モード  をオンすると、ディスプレイ・の上隅に点が表示されます。

清掃モード  がオンになっている場合、これはスタートディスプレイに表示されます。

- 冷蔵室から食品を取り出し、涼しい場所に保管します。
- 取り外し可能なアクセサリーをすべて取り出して清掃します（「アクセサリーを取り外し、分解、清掃する」参照）。

冷凍室/機器全体を清掃する：

- 冷蔵機器をオフにします。

ディスプレイに  が表示され、冷却システムがオフになります。

- 冷凍室から食品を取り出し、涼しい場所に保管します。
- 取り外し可能なアクセサリーをすべて取り出して清掃します（「アクセサリーを取り外し、分解、清掃する」参照）。

清掃とお手入れ

機器庫内を清掃する

冷蔵機器は定期的に、少なくとも月に1回は清掃する必要があります。

汚れを放置しておくと、状況によって落せなくなる場合があります。

表面が変色または損傷する場合があります。

このため、汚れたらすぐに拭き取ります。

- **庫内**は、きれいなスポンジ、ぬるま湯、少量の食器用台所洗剤で清掃します。
- 清掃後に、清潔な水で湿らせた布で拭き、柔らかい布で拭いて乾かします。
- 結露の水が妨げられることなく流れる用、溝と排水口は綿棒などを使って頻繁に清掃してください。
- 空気を通し、臭いがたまらないようにするため、しばらくドアを開いておきます。

アクセサリーを手洗いまたは食器洗い機で洗淨する

以下の部品は必ず **手洗い** してください：

- ステンレストリム
- 印刷が施されている調節可能な棚
- すべての引き出し、およびコンテナのフタ（機種による）
- フレキシブルボトルラック（別売アクセサリー）
- 整理ボックス（別売アクセサリー）

以下の部品は **食器洗い機対応** です：

 食器洗い機での高温洗浄による損傷のおそれがあります。

食器洗い機で55°Cを超える温度で洗浄すると、変形するなどして冷蔵機器の部品が使用できなくなる場合があります。

食器洗い機対応の部品については、最大55°Cまでのプログラムのみを使用してください。

ニンジン、トマト、ケチャップなどに含まれる天然色素との接触は、食器洗い機のプラスチック部品を変色させる場合があります。この変色は部品の安定性には影響しません。

- ボトルホルダー、エッグトレイ、製氷皿
- 機器ドアのドア棚とボトル棚（ステンレストリムなし）
- 調節可能な棚（トリムなしの状態、または印刷なしのもの）
- ガラス棚（保護トリムなし）
- 整理ボックス（別売アクセサリー）
- 活性炭フィルター用のホルダー（別売アクセサリー）

アクセサリーを取り外し、分解、清掃する

ドア棚/ボトル棚を分解する

食器洗い機でドア棚/ボトル棚を洗浄する前に、ステンレストリムを取り外します。

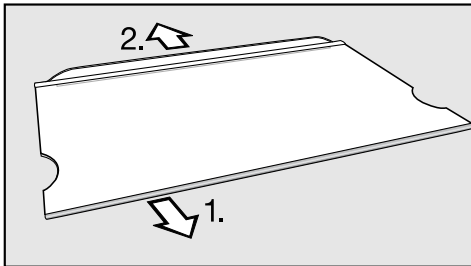
ステンレストリムの取り外しは、以下の手順で行います：

- ドア棚/ボトル棚を作業台に置きます。
- トリムを片側ずつ引いて棚から取り外します。
- ドア棚/ボトル棚を清掃した後、トリムを再度取り付けます。

調節可能な棚を分解する

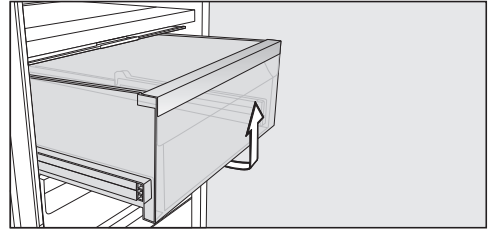
棚の清掃を行う前に、次のように棚の背面にあるプラスチックトリムと保護ストリップを取り外します。

- 柔らかい素材（布巾など）を作業台に敷いて、その上に棚を置きます。



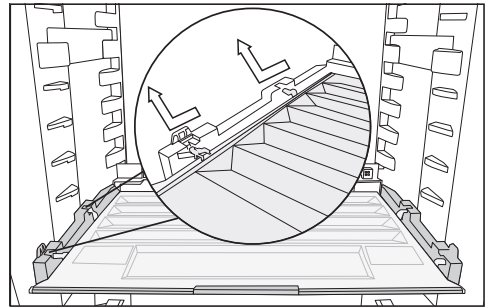
- まず、プラスチックトリムを片側から取り外します。
- 次に、保護ストリップを取り外します。
- 棚の清掃後、プラスチックトリムと保護ストリップを再び取り付けます。

コンテナカバーを取り外す



- カバーを手前側で持ち上げて引き出します。
- 清掃後、コンテナカバーをスライドさせて元に戻します。

コンテナカバーを取り外す



- カバーを手前側で持ち上げて引き出します。
- 清掃後、コンテナカバーをスライドさせて元に戻します。

冷凍室から引き出しとガラス棚を取り外す

- 引き出しを少し手前に引き、取り外します。
- ガラス棚を手前に少し引き出します。

ガラス棚と引き出しを冷凍室に挿入します

- ガラス棚をガイドレールの上に斜めに置きます。
- 押し込んでガラス棚を下げます。

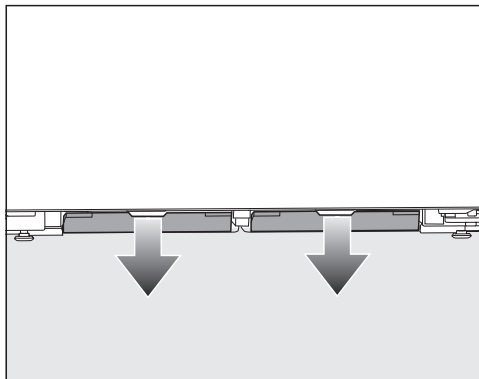
清掃とお手入れ

- 引き出しをガイドレールの上に斜めに置きます。
- 押し込んで引き出しを下げます。

防虫パネルの取り外しと清掃

ほこりがたまると、本機器の消費電力が増加します。

防虫パネル前面は掃除機で定期的に清掃してください（ミーレ掃除機の本ホコリ取り用ブラシなどを使用してください）。



- 防虫パネル中央のキャッチを、外れるまで押し下げます。
- 防虫パネルを前に引いて取り外します。
- 二枚目の防虫パネルも取り外します。
- こびりついた汚れは湿らせた布で取り除きます。
- 防虫パネル2枚を元のように取り付けます（「設置 - 同梱の防虫パネルの取り付け」を参照）。

活性炭フィルター（別売アクセサリー）を交換する

ホルダー内の活性炭フィルターは6か月ごとに交換してください。

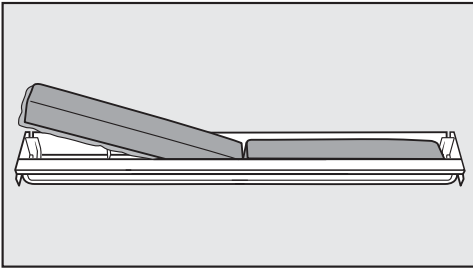
スタート画面の  記号は、活性炭フィルターを交換する必要があることをお知らせします。

「活性炭フィルター交換」のリマインダーがディスプレイから消え、カウンターがリセットされます。

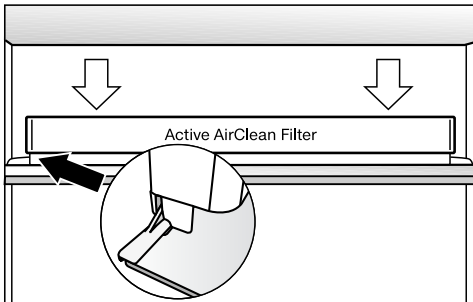
 記号がスタート画面から消えます。

交換用のKKF-RF 活性炭フィルターは、ミーレ・カスタマーサービス、ミーレ販売店、またはミーレオンラインショップからご注文いただけます。

- 活性炭フィルターホルダーを上引っ張って、調節可能な棚から取り外します。



- 両方の活性炭フィルターを取り外し、新しいフィルターをエッジ付きの面を下にしてホルダーに取り付けます。



- ホルダーを調節可能な棚の背面の保護ストリップの中央に置き、カチッと取り付けます。
- OK センサーコントロールをタッチして、フィルターが交換されたことを確認してください。

清掃とお手入れ

機器前面とサイドパネルを清掃する

汚れを放置しておくと、落とせなくなる場合があります。表面が変色または損傷する場合があります。

したがって、機器の前面とサイドパネルの汚れはすぐに取り除くようにしてください。

表面は傷つきやすくなっています。不適切な洗剤を使うことにより表面が変質、変色するおそれがあります。

本章の冒頭にある「洗剤」に関する情報を参照してください。

- きれいなスポンジとお湯に溶かした食器用台所洗剤で表面を清掃します。きれいなマイクロファイバークロスを湿らせて、洗剤なしで使うこともできます。
- 清掃後に、清潔な水で湿らせた布で拭き、柔らかい布で拭いて乾かします。

CleanSteel(edt/cs)—機器前面

⚠ 不適切な清掃によって、機器が破損するリスクがあります。

表面のコーティングが破損します。

機器の表面に**ステンレスクリーナーは使用しないでください**。

機器の前面には、高品質の特別な仕上げが施されています。この仕上げは汚れに強く、清掃も非常に簡単です。

ドアパッキンを清掃する

⚠ 不適切な清掃によって損傷するおそれがあります。

ドアパッキンにオイルやグリスを施すと、気密性が低下する可能性があります。

ドアパッキンにオイルやグリスを使用しないでください。

- ドアパッキンは定期的にきれいな水で拭いてから、柔らかい布で拭いて乾かします。

換気間隙を清掃する

ほこりがたまると、本機器のエネルギー消費量が増加します。

- 換気間隙は、ブラシまたは掃除機で定期的に掃除する必要があります（たとえば、ミレー掃除機のホコリ取り用ブラシを使用できます）。

清掃をした後は

- すべての棚とアクセサリーを冷蔵機器内に戻します。
- 必要であれば、冷蔵機器をオンにします。
- 冷蔵室の清掃モードを有効にしている場合 ：
操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。

 とディスプレイに表示されます。

- OKをタッチします。

清掃モード  をオフすると、ディスプレイの上隅の点が消えます。

- < > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールし、OKをタッチします。

冷蔵室の冷却が始まります。

- 冷凍室がすばやく冷えるよう、しばらくの間SuperFreeze機能  をオンにします。
- 冷蔵室がすばやく冷えるよう、しばらくの間SuperCool機能  をオンにします。
- 冷蔵室に食品を入れます。
- 冷凍室が必要な温度まで下がったら、食品を冷凍用引き出しに入れ、冷凍室に戻します。
- 冷凍室が-18° Cまたはそれ以下の温度で安定したら、SuperFreeze機能  をオフにします。
- 機器のドアを閉めます。

こんなとき、どうしたらいい？

日常の使用で発生する本体の性能に関する小さな不具合などは、間違った操作が原因の場合もあります。

以下のトラブルシューティングガイドにより、故障の原因を見つけ、直すことが出来る場合があります。ただし、次の注意点には十分ご留意ください。修理およびその他の作業を非専門技術者が行った場合、使用中に大きな危険を引き起こす可能性があります。電気機器の修理は、必ず地域および国の安全基準に厳密に従って、適任な有資格者が行わなければいけません。

不必要に冷気が失われるのを防ぐため、本機器の修理を待つ間はドアを開けないことをお勧めします。

問題	原因および対策
冷蔵機器が冷えず、機器のドアを開けても庫内照明が点灯しない。	冷蔵機器がオンになっておらず、ディスプレイに  記号が点灯しています。 ■ 冷蔵機器をオンにします。
	プラグがコンセントに正しく挿し込まれていません。 ■ 電源プラグをコンセントに挿し込みます。冷蔵機器がオフになっている場合は、ディスプレイに  が表示されます。
	ブレーカーが落ちているかヒューズが切れています。冷蔵機器、家庭内電気配線、他の電気機器に障害がある可能性があります。 ■ 資格のある電気技師またはミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。
コンプレッサーが継続的に稼働している。	異常ではありません。エネルギーを節約するため、必要な冷却が少ない場合にコンプレッサーは低速で長時間稼働します。
コンプレッサーがより頻繁に、より長期間稼働する。冷蔵機器内の温度が低すぎる。	換気間隙が覆われているか、ほこりが多すぎます。 ■ 換気間隙を塞がないでください。 ■ 換気間隙を定期的に清掃してください。
	機器のドアが頻繁に開けられたか、大量の生鮮食品が保存や冷凍のために同時に入れられました。 ■ 機器のドアは必要なときにだけ開け、できるだけ短時間にしてください。 しばらくすると、自然に正常な温度に戻ります。
	機器のドアが正しく閉まっていません。冷凍室に厚い氷の層ができてしまっている場合があります。 ■ 機器のドアを閉めます。

こんなとき、どうしたらいい？

問題	原因および対策
	しばらくすると、自然に正常な温度に戻ります。 厚い氷の層ができてしまっている場合、これは冷却に影響し、エネルギー消費量が増加します。 ■ 冷蔵機器の霜取りと清掃をしてください。
	周囲室温が高すぎます。周囲温度が高いほど、コンプレッサーの稼働時間が長くなります。 ■ 「設置」 - 「場所」を参照してください。
	冷蔵機器が正しく開口に設置されていません。 ■ 付属の取扱説明書に従って、冷蔵機器を開口に設置します。
	冷蔵機器内の設定温度が低すぎます。 ■ 温度設定を修正してください。
	一度に大量の食品が冷凍されています。 ■ 「食品の冷凍と保存をする」を参照してください。
	SuperCool機能 ✱ がオンのままです。 ■ エネルギーを節約するには、早めにSuperCool機能 ✱ をオフします。
	SuperFreeze機能 ✱ がオンのままです。 ■ エネルギーを節約するには、早めにSuperFreeze機能 ✱ をオフします。
コンプレッサーの稼働頻度が次第に減り、稼働時間も短くなっている。冷蔵機器内の温度が上昇する。	異常ではありません。温度設定が高すぎます。 ■ 温度設定を修正してください。 ■ 24 時間後にもう一度温度を確認してください。
	冷凍食品が解け始めます。 本冷蔵機器には周囲温度が低すぎます。 周囲温度が低すぎると、コンプレッサーの稼働頻度が低下します。これにより、冷凍室が温かくなりすぎる可能性があります。 ■ 「設置」 - 「場所」を参照してください。 ■ 周囲温度を上げてください。
冷蔵機器内部に氷または結露が蓄積している。機器のドアが正しく閉まらないことがある。	ドアパッキングが溝から外れています。 ■ ドアパッキングが溝に正しく取り付けられているか確認してください。
	ドアパッキングが破損しています。 ■ ドアパッキングが破損していないか確認してください。

こんなとき、どうしたらいい？

問題	原因および対策
ドアパッキンが破損している、または交換する必要がある。	ドアパッキンの交換に必要な工具はありません。 ■ ドアパッキンを交換してください。交換用の部品は、ミーレまたは専門のミーレ取扱店でご注文いただけます。

その他の問題

問題	原因および対策
冷蔵室内の底面が濡れている。	排水口が詰まっています。 ■ 結露の溝と排水口を清掃します。
食品同士が凍り付いてしまっている。	冷凍庫に入れる際に、食品の包装が乾いていませんでした。 ■ スプーンの柄やスクレーパーなど、先のとがっていないもので慎重に分けてください。
ドアが長い間開いていても、アラーム音が鳴らない。	異常ではありません。設定モードでアラーム音がオフにされています。通知音をオンに戻したい場合は： ■ 設定モード  で、< > センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。 ■ OKをタッチします。 ■ < > センサーコントロールを使って、アラーム音とブザーの音量をご希望に合わせて選択します。 ■ OKをタッチします。 アラーム音とブザーがオンになると、ディスプレイに  が表示されます。

警告表示

メッセージ	原因および対策
■ がディスプレイに点灯し、操作部と庫内照明は機能しているのに冷蔵機器が冷えない。	デモモードが有効になっています。 ■ OKをタッチします。 最初に Miele がディスプレイに表示され、続いてスタート画面が表示されます。 ■ OKをタッチします。 ■ 設定モード  で、< > センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。 ■ OKをタッチします。 デモモード  をオフすると、冷蔵機器がオフになるため、再度オンにする必要があります。

こんなとき、どうしたらいい？

メッセージ	原因および対策
 がディスプレイに点灯し、冷蔵機器が使用できない。	洗浄モード機能がオンのままです。 ■ 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチして、洗浄モードをオフにします。  がディスプレイに表示されます。 ■ OKをタッチします。 洗浄モード  をオフにすると、ディスプレイ上部の点が消えます。 ■ <> センサーコントロールを使って、↶ 記号までスクロールし、OKをタッチします。 冷蔵機器が再び冷却を開始します。
ディスプレイに何も表示されない。ディスプレイが真っ黒である。	サバトモード  がオンになっています：庫内照明がオフになり、冷蔵機器が冷却されています。 ■ OKをタッチします。  とディスプレイに表示されます。 ■ OKをタッチします。 サバトモード機能  をオンすると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。 ■ OKをタッチします。 サバトモード機能  をオフすると、ディスプレイの上隅の点が消えます。
 がディスプレイに点灯し、機器を使用できない。	ロック機能が有効になっています。 ■ 冷蔵機器のロックを一時的に無効にするか、完全にオフにします（「その他の設定を選択する」-「ロック機能  / を一時的に無効にする/完全にオフする」参照）。
 記号がスタート画面で点灯し、ブザー音が鳴る。	スタート画面の  活性炭フィルター交換表示は、フィルターを交換する必要があることをお知らせします。 ■ ホルダー内の活性炭フィルターを交換し（「清掃とお手入れ」-「活性炭フィルター（別売アクセサリ）を交換する」参照）、OK センサーコントロールにタッチして、活性炭フィルターが交換されたことを確定してください。  記号がスタート画面から消えます。
 が温度表示の1つに黄色く点灯し、アラーム音が鳴る。	ドアアラーム が作動しています。 ■ OK をタップします。 アラーム音が止まり、 記号が消えます。 ■ 該当する機器の扉を閉じます。

こんなとき、どうしたらいい？

メッセージ	原因および対策
🔊△ が冷凍室温度表示で点灯し、アラーム音が鳴る。	温度アラーム が作動しました。冷凍室の温度が設定温度よりも高く、または低くなりました。 以下の理由が考えられます： - 機器のドアが頻繁に開けられた。 - SuperFreeze機能がオフのまま、大量の生鮮食品が冷凍室に入れられた。 - 長時間の停電が発生した。 - 冷蔵機器に異常がある。 ■ OKをタッチします。 アラームメッセージが確認されました：🔊△ が消え、アラームが止まります。 冷凍室に記録された最高温度がディスプレイに約1分間点滅します。その後、温度表示が冷凍室の現在温度に変わります。 点滅している温度表示から早めに抜けることができます： ■ OKをタッチします。 表示されている最高温度が消えます。その後、表示は冷凍室内の現在の温度の表示に戻ります。 ■ アラームの原因を修正してください。 ■ 表示される温度によっては、冷凍庫内の食品が解け始めたり完全に解凍されたりしていないか確認する必要があります。解けている場合は、できるだけ早く消費してください。解凍した食品は、調理した後に限り再冷凍することができます。

こんなとき、どうしたらいい？

メッセージ	原因および対策
⚠ がディスプレイで点灯し、アラーム音が鳴る。	電源遮断のお知らせ：過去数日または数時間の冷凍室の温度が、停電または電源が遮断されたために高くなりすぎました。 ■ OKをタッチします。 エラーメッセージが確認されました： ⚠ が消え、アラーム音が止まります。 冷凍室で記録された最高温度が、冷凍室の温度表示に約1分間点滅します。その後、温度表示が冷凍室の現在温度に変わります。 点滅している温度表示から早めに抜けることができます： ■ OKをタッチします。 表示されている最高温度が消えます。その後、表示は冷凍室内の現在の温度の表示に戻ります。機器が再びオンになると、最後の温度設定に戻ります。 ■ アラームの原因を修正してください。 ■ 表示される温度によっては、冷凍庫内の食品が解け始めたり完全に解凍されたりしていないか確認する必要があります。解けている場合は、できるだけ早く消費してください。解凍した食品は、調理した後に限り再冷凍することができます。
⚠ がディスプレイで点灯し、エラーメッセージFと番号が表示される場合があります。アラーム音も鳴ります。	異常があります。 ■ OK をタップしてアラーム音をオフにします。 ■ ミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。 異常を報告するには、エラーメッセージと、お使いの冷蔵機器の型式と製造番号が必要です。これらの情報 ⓘ はディスプレイからアクセスできます。 ■ OK をタップします。 必要な機器データがディスプレイに表示されます。 ■ OK をタップします。 ■ 冷蔵機器をオフするには、< もしくは > センサーコントロールを使用して、記号 0 までスクロールします。 ■ 情報表示を終了するには、< もしくは > センサーコントロールを使用して、記号 3 までスクロールします。 ■ OK をタップします。 機器に異常があります：この表示は、選択したばかりのいかなる設定よりも優先されます。 機器の異常は、現在表示されているドアアラームや温度アラームよりも優先されます。

こんなとき、どうしたらいい？

庫内照明

 露出した通電中の電気部品による感電のおそれがあります。
照明カバーを取り外すと、通電中の電気部品に接触するおそれがあります。
照明カバーは取り外さないでください。LED照明の修理や交換は、ミーレのサービスのみが行えます。

 LED照明によるけがのおそれがあります。
カバーに異常があると、眼をけがするおそれがあります。
照明カバーに異常がある場合は、近距離から光学機器（虫眼鏡など）を使用して照明を直接見ないでください。

問題	原因および対策
庫内照明が点灯しない。	冷蔵機器がオンになっていません。 ■ 冷蔵機器をオンにします。
	サバトモード  がオンになっています。ディスプレイが暗く、冷蔵機器は冷却されています。 ■ OKをタッチします。  とディスプレイに表示されます。 ■ OKをタッチします。
	サバトモード機能  をオンすると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。 ■ OKをタッチします。
	サバトモード機能  をオフすると、ディスプレイの上隅の点が消えます。
	オーバーヒートを防ぐため、機器のドアを開けたままにすると、約15分後に照明が自動的にオフになります。これに該当しない場合は、異常があります。 ■ ミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。

冷蔵機器から運転中さまざまな音を発生させます。
 冷蔵性能が下がっていると、冷蔵機器はエネルギーを節約しますが、より長時間運転します。
 音量は低くなります。
 冷却性能が高いとき食品はより速く冷却されます。
 音量は高くなります。

通常の 運転音	その原因は？
「ブーン」	うなるような音はモーター（コンプレッサー）からします。この音は、コンプレッサーがオンになるときに短時間、大きくなることがあります。
「ボコボコ」	うがいのような音は、冷媒がパイプ内を循環しているときに聞こえます。
「カチッ」	サーモスタットがコンプレッサーをオン/オフするときにカチッという音がします。
「シュー」	機器内部のファンの音が聞こえることがあります。
「バキッ」	機器内部の素材が膨張するときに聞こえることがあります。
ある程度の音は避けられないことにご注意ください（コンプレッサーや冷却回路内を循環する冷媒からの音）。	

音	原因と改善方法
ガタガタする、 振動する	冷蔵機器が水平に設置されていません。水準器を使用して、冷蔵機器の下にある調整脚を上下に調節してください。
	冷蔵機器が別の機器やキャビネットに触れています。移動してください。
	引き出しやバスケット、棚が揺れている、または挟まっています。取り外し可能なアイテムをすべて確認し、正しく取り付け直してください。
	ボトルや容器が接触しています。離してください。

アフターサービス

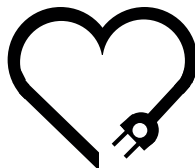
故障の際の連絡先

お客様ご自身では対応できない故障の場合は、ミーレ販売店またはミーレ・カスタマーサービスまでご連絡ください。

ミーレ・カスタマーサービスへの修理のお申込みについては www.miele.co.jp/service をご覧ください。

ミーレ・カスタマーサービスの連絡先は本冊子の最終ページにあります。

ミーレ・カスタマーサービスにご連絡いただく際には、お使いの機器の型番と製造番号(SN)をご用意ください。どちらの番号も、冷蔵機器内部の型式表示シール、またはモデルによっては、設定モードの情報 **i** にあります。



愛情点検

長年ご使用の冷蔵機器の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れてもときどき運転しない時がある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 本体ケースが変形していたり、異常に熱い
- こげくさい臭いがする
- 機器に触るとピリピリと電気を感じることもある。
- その他の異常や故障がある。



●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

カスタマーサービス 0120-310-647（フリーダイヤル）

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12 オリックス目黒ビル4階

www.miele.co.jp

KFN 4375 DD

ja-JP

M.-Nr. 12 137 560 / 01